



総合体育館（桜アリーナ）

日本大学
国際関係学部

校友会々報

第47号

静岡県三島市文教町 2-31-145
日本大学国際関係学部
校友会

平成二十八年度 常任幹事会・幹事会開催

◎常任幹事会

平成二十八年度六月四日(土)十六時三十分から、国際関係学部本校舎十五号館五階一五五四教室において開催された。横山雅人会長挨拶の後、会長進行により議事に移り、幹事会提案事項について田中由雄幹事長及び塩谷典子常任幹事(会計担当)から各項目ごと詳細にわたり説明があり審議された。

◎幹事会

平成二十八年度六月四日(土)十七時三十分から、常任幹事会に引き続いて幹事会が開催された。関野幹雄常任幹事の司会で進行され、横山雅人会長から正会員加入の促進と挨拶の後、議長団・書記が選出された。議長には高野誠常任幹事、副議長には日吉智幹事、書記には平岩美知子常任幹事がそれぞれ選出され、次の議事が審議された。

- 平成二十七年事業報告
 - 平成二十七年決算報告
 - 監査報告
 - 平成二十八年度事業計画(案)
 - 平成二十八年度予算(案)
 - 平成二十八年度新幹事に関する件
 - 就職合同面接会実行委員に関する件
 - ホームカミングデー・富桜祭物産店実行委員に関する件
 - 国際関係学部校友会会長賞等給付規程・表彰基準改正に関する件
 - 功労者表彰に関する件
 - 国際関係学部校友会関係物故者について
 - その他
- 田中由雄幹事長から、平成二十七年事業報告引き続き塩谷典子会計担当から平成二十七年決算報告が報告され、宮川守会計監査から監査報告があり、それぞれ承認された。なお、卒業記念品は卒業予定者数が増加した為と事務費での各校友会出席者増による予算超過となる旨の追加説明が田中由雄幹事長から報告がなされた。
- 続いて平成二十八年度事業計画(案)については田中由雄幹事長から及び平成二十八年度収支予算(案)については塩谷典子会計担当から提案説明がなされ、審議の結果、二議案とも承認された。
- 平成二十八年度校友会新役員については国際関係学部十一名・食物栄養学科十一名が新幹事として、幹事二名が常任幹事へ役職変更等が事務局から推薦があり承認された。
- 就職合同面接会実行委員に関する件については

田中由雄幹事長から国際関係学部四年生及び短期大学部二年生の卒業予定者対象とした合同面接会を平成二十三年度から開催している。昨年は平成二十七年九月十一日に第五回合同面接会を開催し二十社の参加企業・五十九名の参加学生で十六名の内定者があった旨の報告があり、本年度も引き続き開催する計画であり、面接会実行委員会を設置したい。委員メンバーとして会長・副会長・幹事長並びに常任幹事・幹事から若干名とし、委員会構成メンバーは別紙委員名簿としたい旨の提案がなされた。

次にホームカミングデー・富桜祭物産店実行委員会に関する件については田中由雄幹事長から国際関係学部校友会に所属する卒業生並びに他学部移行生・編入生の会員を母校三島を訪ねて頂く目的で毎年恒例の富桜祭物産店に参加し在学生と卒業生或いは卒業生同志の絆を深める目的で実行委員会を設置したい旨の提案がなされ審議の結果、二案とも承認された。

日本大学国際関係学部校友会会長賞等給付規程・表彰基準改正に関する件については田中由雄幹事長から毎年学部長に推薦依頼をお願いし学生生活委員会から推薦されていますが平成二十八年度から国際関係学部と短期大学部三島校舎の推薦人員を学籍数による人数配分でお願したい旨の提案がなされ審議の結果、承認された。

功労者表彰に関する件については田中由雄幹事長から校友会顧問でありました角田義廣氏と平井千枝氏の二名が役員を定年となり、その功績に感謝の意をこめ感謝状及び記念品を贈呈したい旨の説明があり承認された。

国際関係学部校友会関係物故者については田中由雄幹事長から昨年の総会から本年六月末日までに三名の会員の方がご逝去された旨の報告がなされた。

「日大通りきずな清掃」



国際関係学部校友会会長

横山 雅人

校友の皆様におかれましては、ご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は国際関係学部校友会の活動に対しご理解とご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

昨年四月に会長に就任して一年が経過し、今年七月に開催された総会も無事に終了いたしました。皆様のご協力に感謝申し上げます。総会でお話した今年度から新たに取り組んでいる三つの活動についてご紹介いたします。

一つ目は国際関係学部校友会有志による清掃活動です。「日大通りきずな清掃」と名付けました。きっかけは後輩の一言でした。昨年の国際関係学部同窓会総会懇親会の席で出席者と名刺交換をしながら、出席者を増やしたいから仲間を誘って来てくださいとお願いをしていたところ、ある後輩から何か共通の取組があるとまとまりやすいのではないかと、たとえば清掃活動とか、という話がありました。確かに私の周りには清掃活動をしている仲間がいて、その活動を通して人が繋がり広がっています。これをやろうと決め、会の中で準備を進めました。地域貢献と校友の繋がりによる会の発展を目的としてSNS(フェイスブック)にグループ

を作成し情報発信をしています。

毎月第四日曜日の午前九時から十時までの一時間を活動時間とし、場所は学校前の両側歩道(通学路)です。第一回目は五月二十二日に行いました。計八名の参加があり、中には東京から子供と一緒に参加してくれた校友もいました。第二回目は六月二十六日に行い十六名が参加しました。活動に賛同してくれた日大三島高校の先生が生徒四名と、学部の学生も三名参加してくれました。四年前に名刺交換をしたきりだった後輩がフェイスブックを見て来てくれました。四年ぶりの嬉しい再会でした。早くも人の繋がりが広がってきました。今後が楽しみです。清掃中にすれ違う方と交わす挨拶や、ありがとうございますの言葉に力づけられます。二つ目は十月二十九日と三十日に開催される富桜祭(大学祭)に、以前、桜栄会が中心に行っていた物産店(地元特産物等の販売)を学部校友会で出店します。また三十日だけとなりますが、昨年に続き校友が集える談話室も校舎内に設けます。一人でも多くの校友に学校に足を運んでもらい、母校を盛り上げてほしいと願っています。当時に戻って昔話に花を咲かせませ

んか?お待ちしております。三つ目は正会員一〇〇キャンペーンです。昨年度の学部校友会の正会員数は〇四十九名でした。あと五年間で正会員数を百名にしようという取組です。

年会費一万円で在学生の支援と会員同士の相互親睦促進のため

「ご挨拶」



日本大学国際関係学部校友会の皆様におかれましては、益々ご清栄のことと心よりお喜び申し上げます。

平素は日本大学国際関係学部、短期大学部(三島校舎)にて学ぶ学生のために、ご理解とご支援を賜り深く感謝申し上げます。厚く御礼申し上げます。

本年度は、国際関係学部にて七十四名、短期大学部ビジネス教養学科に六十七名、食物栄養学科に八十二名、専攻科食物栄養専攻に二十九名、大学院国際関係研究科に七名、更には、三島高等学校に七十三名、三島中学校に五十九名と、三島キャンパス全体で一、七三一名の新しい生徒、学生を迎えることが出来ました。

また、新しいカリキュラムも始まり、これから学生たちは国際関係コース、国際ビジネスコース、グローバル観光コース、国際文化コース、コミ

に利用しています。正会員の特典も用意されています。正会員への登録をお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様のご健勝、ご活躍を祈念し、ご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

国際関係学部学部長

渡邊 武一郎

ユニケーションコース、グローバルスタディコースの6コースから二つを選択し、学習することになります。昨今のグローバル化の影響か、グローバル観光コースの人気が高いようです。入学時の英語学力テスト上位5%以上の学生による英語特別クラスも、その成果が着実に顕れ始めています。先般行われた日本大学英語スピーチコンテストでは優勝、準優勝、第三位を全て国際関係学部の学生が占める結果となりました。これら入賞者も英語特別クラスの学生です。また、文部科学省のトビタテJAPANにも本学部の学生が一名採択されました。そして、英語特別クラスではありませんが、先般行われたロシア語のスピーチコンテストにおいても東京外国語大学、上智大学等、ロシア語学科を擁する大学の学生と競いあい見事4位に入賞することが出来ました。

また、昨年度この場で紹介させていた高木大連携教育として付属三島高校で実施したドイツ語とフランス語の同時学習をする複言語の講座を、本年度より大学でも始めました。どのような成果が出るか楽しみにしています。そして、今年度から国際関係学部に国際関係論の高橋力也先生、スポーツ総合に塩梅弘之先生をお迎えしました。塩梅先生は本学国際関係学部を卒業後、ドイツのケルン体育大学院にてスポーツマネージメントを学ばれ、この春より母校の教壇に立つ事となりました。毎日張り切って後輩の指導に当たってまいります。同じキャンパスには付属三島高等学校、中学校がありますが、三島高校は約二〇〇〇人の生徒を擁する静岡県内一番の大規模校です。先般アメリカで行われた全米チアダンス選手権において優勝し、全米一位の栄誉に輝きました。また、家庭科部がお好み焼き甲子園に優勝し、七月二十三日から三日間限定で優勝したレシピのお好み焼きが製品化されることとなりました。静岡県内のしずてつストアにて一日三〇〇〇食限定で販売されるそうです。また、二十四日のフジテレビ系列の二十七時間テレビのバスケットボールコーナーの静岡県代表にも選出されました。残念ながら、フジテレビでの決勝戦には進出できませんでしたが、総合体育館からの生中継には多くの生徒、父兄が応援に駆けつけてくれました。また、昨年度は文部科学省のKAK EHASHIプロジェクトにより中国とアメリカからそれぞれ約二十名の生徒を数日間受け入れました。今年度も同プロジェクトによりアメリカの高校生を受け入れました。

各回、受け入れた外国人の生徒を日大三島高校の生徒が三島大社や伊豆ジオパーク等に案内し、その後、は学校にて生徒会の生徒を中心に、書道やお茶などの日本文化を英語で紹介、体験してもらっています。これらの活動が評価され、本校が来春の文科省のKAKEHASHIプロジェクトのアメリカ派遣校に選ばれました。約二十名の生徒がアメリカのアーカンソー州に派遣される予定です。

「日本大学と

国際関係学部の近況」



国際関係学部事務局長

大村正文

日本大学国際関係学部・短期大
学部校友会の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素から奨学金等のご支援に対し、心より感謝申し上げます。平成二十八年度国際関係学部校友会総会並びに懇親会は、七月十六日(土)みしまプラザホテルにて学長大塚吉兵衛先生をお招きのもと盛大に開催され、渡邊学部長はじめ学部執行部等多数の関係者をご招待いただきお礼申し

上げます。写真撮影の後、和やかな中、横山雅人校友会会長挨拶から懇親会が始まり、吉皆様と楽しいひと時を過ごさせていただきました。歓談の最中、みなさまから貴重なご意見や励ましの言葉等を頂き、今後の学部運営に反映していきたいと思っております。

さて、皆様に日本大学及び本学部の近況を簡単にお話します。まずは志願者数ですが、平成二十八年度日本大学一般入学志願者数

(一部)は一〇万四三〇七名となり、十七年ぶりに十万人の万台を越えました。二つの新学部(危機管理理学部・スポーツ科学部)が開校となり出願の伸びに大きく貢献したことに加え、法学部等文系4学部の伸びによるものであります。初の募集となった危機管理理学部の志願者数は募集人員一五〇名に対し二〇九〇名で倍率十三・九倍。スポーツ科学部は同一〇〇名に対し一五二一名で十三・八倍に達した。この二学部は二十八年ぶりとなる新学部開設であり、かつての生物資源科学部跡地である三軒茶屋キャンパスに建設され「地域開放」「共存」「人にやさしい」をキーワードにした二学部で一つのキャンパス内にあります。『危機管理理学部』は自然災害や事故、犯罪、情報流出、テロリズムなど近年多発し、脅威を与える様々な危機に対応した学部で最新メディア学修環境を整え、法学をベースに今後直面する可能性のあるあらゆる危機に対応できる能力と専門スキルを修得した危機管理のエキスパートを養成します。スポーツ科学部は、スポーツを理論と実践の両面から学びハイパフォーマンスを発揮できるトップアスリートはもちろん優れた選手育成に携わる指導者を養成します。こうした中で、本学部の志願者数は一三〇九名(推薦等含め一八九三名)となり四十五名減少してしまいま

した。全教職員一丸となって志願者増に取り組んでまいります。次に学納金に次ぐ収入源である日本私立学校振興・共済事業財団からの交付となった平成二十七年度私立大学等経常費補助金(短期大学は除く)は九十億二〇九二万七千円となり三年連続で全私大中一位となっております。施設面での学生への支援策として、地方からの学生に対する経済面・安心面でのサポートを二層充実させるため男女各々三番目となる学生寮が、郡山市(男子寮定員一〇〇名)と目黒区(女子寮定員一五〇名)の二地区で利用を開始しました。校舎等のキャンパス整備では、理工学部が平成三十二年に迎える学部創設一〇〇周年記念事業の一環として駿河台キャンパスにランドマークとなる高層校舎(地上十八階・地下三階)が平成三十年六月に完成する予定であります。今年創設一〇〇周年を迎えた歯学部も記念事業の一環として、平成三十三年に「教育」「研究」「臨床」の三機能を融合させた新キャンパスを旧駿河台病院及び歯科病院跡地に完成に向けて工事が進んでいます。国際関係学部では、三島高等学校と国際関係学部の事業とした新総合体育館が七月二十一日(土)に田中英壽理事長、大塚吉兵衛学部長はじめ本学役教職員、建築関係者等参列のもと修祓式と竣工祝

賀会が挙行されます。夏休み明けから授業やクラブ活動等に利用することとなります。この新体育館は古くなった第一体育館(大講堂)・第二体育館・八号館(食堂)の三つの建物の機能を集約した建物として三階建てで一階は食堂売店・多目的運動場及びトレーニングルーム、二階はバスケットコート四面(バレーボール・バドミントン等)にも対応し、事務室・更衣室・トイレ等を三階には二四五mのランニングコースを設置した総合体育館であります。教育環境及び学園環境のさらなる向上が図られ授業並びに課外活動等に大きな成果が期待されます。

「詰襟の学生服」



国際関係学部校友会副会長
工科同窓会会長

弓場重明

今年の初め、久しぶりに夢を見た。その夢というのは、詰襟の学生服を着て日本大学(三島)の学園内を闊歩している夢だった。そこには多くの体育会系の学生と肩で風を切る自分がいた。思い起こせば四十六年前、剣道部の主将、体育団体の幹部として学園内を闊歩していたのだ。『信じられませんか。でも本当です。』これには訳があった。

高校を卒業して、日本大学(三島)短期大学部工科建築にお世話になることになった。入学したての頃は毎日が退屈で、学園と自宅、たまに静岡を往復する日々だった。しかし、四月に入学してから半年が過ぎた頃、急に建築という学問に、また授業に興味を持つようになった。建物の設計や都市計画、なんて面白い学問だろうと思うと、授業にも集中出来るようになった。

そんなこんなで多少余裕が出来てきたのか、周りが良く見え始め、文化サークルの他に、昔ながらの体育会の日本拳法や少林寺拳法、空手に合気道と武道系のクラブが結構幅を利かせているのが目に入った。そこで私は、高校時代に剣道をやっ

ていたので、剣道でもやってみようと思

い、思い切って大学の剣道部に入部した。少し前までは二度とやりたくないと思っていた剣道、やってみたらやっぱり辛かった。でもしばらく続けていると、月日の経つのも早いもので、半年が過ぎ、早二年生になっていた。剣道部の副主将にも推挙され、後輩も多く出来、余裕も出てそれなりに楽しかった。

ある時、わが剣道部の主将が他のクラブの主将たちから総スカンを食い辞めてしまった。何があったかは定かではない。が、付属高校時代からの軋轢もあったのかと思われる。ある意味附属高校出身でなかった自分に白羽の矢が立ったのかと思つた。そこで自分としては仕方なく主将になることになった。

自分が二十歳を過ぎたころ体育団体ではよく飲み会があった。開催場所は、数が少ないのと学校からも近いという理由で昭明館がよく使われた。当時体育団体には、大橋先生という顧問の先生がおられた。ウイスキーが大好きで、サントリーの角瓶をよく飲んでた。懇親会では、われと思うものが、顧問の先生

の前に進み、特大の盃にウイスキーを注いでもらいそれを一気に飲む事が一つの自慢になっていた。自分も剣道部の主将としてその洗礼を受けたものである。飲んだ後、よく急性アルコール中毒や心不全にならなかつたものだと、今思うとぞっとする。懇親会が終わった後、タクシーに乗って自宅へ。着くまでは意識があつたが着いてすぐに記憶を喪失。

まさにそれは生まれて初めての経験だった。

体育団体の幹部とは三島の街へ繰り出しよく飲んだ。飲み代をアルバイトなどで稼ぎ、ほどほどに楽しい時代を過ごした。今考えれば、大人の世界を垣間見る年頃として、二度と味わう事の出来ない青春と大人の境目の時代の良き思い出である。

「自然の美しさと散歩」



国際関係学部校友会顧問

小早川隆義

校友会の皆様におかれましては、ご健勝のことと、心よりお慶び申し上げます。

三島学園の同窓会の頃から、活動に参加させていただいて早、四十年となりませす。

諸先輩より予科設置時のご苦勞を聞き、それが今日の国際関係学部の礎となっているものと感じ心より敬服致しております。

そして富士を仰ぐ自然豊かな三島の地に、学術・文化芸術が根付いたのであると考えられます。

仕事を離れて十数年になります。が、毎日近所を散歩していると今までは違った景色が見えてきます。

春には、花々が咲き、土から虫たちが這い出し、沢には、かきが…

以前と比べると、ゆったりと時が流れているように思われます。そして秋にはコオロギ、赤とんぼ、山々は紅葉し…

この自然の美しさは、文才のない私が表現できません、そこで住まいの周辺「静岡県函南町」でよくドライブ、散歩しているところを、少し紹介します。

まずは、二年前に世界遺産に登録された葦山反射炉「伊豆の国市」です、日本で唯一現存する実用反射炉です。葦山代官江川太郎左衛門英龍が、外国からの海防政策の一つと

して、大砲を鑄造し、砲台を品川沖台場に築造しました。様々な偉業の中では、日本で初めて、西洋式軍隊、農兵軍を組織、今でも知られている号令…気をつけ、右向け右、回れ右等のかげ声を作らせた。パンも、日本で初めて作ったと言われています。この場所からは世界遺産と、富士山が同時に見ることが出来ます。

先日は、伊豆の国市に長嶋茂雄ロードが完成し、トレーニングした場所、宿泊したホテルの離れを訪問又その時反射炉にも足を運び、大ファンの私は、富士山と反射炉とミスターを「3」つの貴重な風景を見ることが出来、非常に興奮しました。

次に函南町の里、小さな美術館ですが、国の指定文化財で鎌倉時代の實慶作、木造阿弥陀如来像他、多彩あります。

次に柏谷公園です。柏谷百穴横穴群を含む公園です昭和二十三年皇太子殿下が、三島予科へ、来校され、考古学関係の出土品を見学されたばかりか、この柏谷百穴へ、現地視察されました。

この事は、三島学園の歴史上記念すべきものであります。

そこでもう一つ、本学がさまざまに発展し、ここ数年の校舎、数々の施設の変貌ぶりを散歩の最後に母校を訪ね、青春時代を思い出してみたいかがでしょうか…

これからは、本学に於いて、校友会の行事を積極的に行ってゆくと

是非足を運んで、国際関係学部と校友会の益々の発展を皆様と力をあわせて進めていこうではありませんか。

皆様の今後のご活躍を、心よりお祈り申し上げます。

「ボランティア活動に挑戦」



国際関係学部校友会幹事
栄養科 一期

山口 玲子

涼風に秋の気配を感じるようになりしました。国際関係学部校友会（桜栄会）の皆様いかがお過ごしでしょうか。日頃より校友会活動にご協力いただき感謝申し上げます。平成二十八年五月四日には、校友会常任理事会・幹事会が開催され、多くの方のご出席をいただきました。役員さんの中にも新しい顔も見られ、日々育んでいる様子が見え、嬉しく思われます。

今から四年前に友人から「函南町文化協会の書記をやってほしい。」と要請がありました。自分の年齢を考えると五十代・六十代の人達と七十四歳の私が、「どんなふうにとライできるか」と不安がいろいろあります。でも、現職の経験が活かせる仕事なのかもとあらためて思ったりもします。年齢って思い込みにすぎないのかもしれない。やればできることはたくさんあって、自分

私がボランティアで活動している函南町文化協会は、昭和五十五年五月に設立総会を開催し、発足しています。今年の加入団体は、十九連盟、七十九団体、九百七十三名の会員となります。昨年度は、千名を超える所属会員数でしたのに、函南町でも高齢化が進み文化の多様化により新しい分野の団体は増えていきます。近隣の市や町の話を伺っても、若い世代の取り組みがで

きず会員数の減少に繋がっているようです。文化協会の主な年間事業としては、五月に函南町日舞の会、六月には、フラフェスタ、十月には、函南町文化祭、十一月には、函南町クラシックコンサートの実業計画が立てられています。文化協会の最大行事の函南町文化祭によく現れているように思います。これは全員各位が自ら追求課題を課し目標に向かって一人ひとりの価値観を探索する過程から生まれた新しい想像が団体発表の中に表れていたたまものであると感じています。事前の素晴らしいポスターや看板等役員や実行委員の運営面、舞台研修の照明、小道具係の手際の良さ、展示内容の工夫など、他の市や町に依っては、照明専門の方をたのんでいるところも多く、函南町文化協会の実力を示しています。役員の皆さんの仲間づくりが、文化発信の広がりにつながることでしょう。

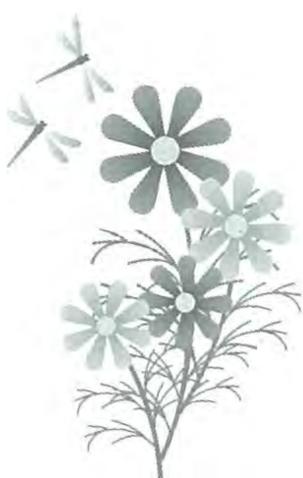
「同窓会の始まり」



国際関係学部校友会幹事
工科(機械) 二期

向 笠 肇

最初岩崎君が散歩していて自分の家を通った時に、偶然に今度自分の家でお昼に焼き肉で二杯やろうかという事で話がまとまり、宮沢君に連絡したらいいよという事で三人で話はずみ昔の友達の話にあいつは何しているのかなーとか、という話になって今度改めて他の同窓生に声掛けてやろうと言う事で日にちと場所を決めてとりあえず近くの友達に連絡したら黒柳君とテニス部の大和君も来るという事で話が決まり五人で(宮沢野球部。岩崎陸上部)で話が決まり昼飯めし食べながら四時間話が弾み一人が三人集めて同窓会をやるという話でまとまり、なかなか昔の話で話が盛り上がり、そろそろ亡くなった人もいるし近況を知りたがる同級生の友達と二杯飲んで残りの少ない人生の中で学生時代の同じ話題で楽しい時間が持て、なつかしい学生時代の思い出で話が昨日のように話がつきなく、今度日帰り温泉でやろうと言う事となり、友達に連絡している今日この頃十五人位が丁度いい人数でいいなと、多すぎると分かれてしまいま



校友会優秀賞受賞者



国際総合政策学科三年

嘉代 誠

私は幼い頃から体を動かすことが好きでした。今まで様々なスポーツを経験してきましたが、特に野球には魅力やそれを感じられない楽しさに惹かれました。そして小学生の頃、野球を始めました。

大学に入学して様々な変化がありました。高校時代は寮生活を送っていました。親元を離れて三年間、学ぶものが多く、両親に対しての感謝、ありがたさというものを感じさせてくれた三年間でした。大学生になり人生で始めて電車通学となり、最初は不安な気持ちもあり、正直やっていたいけるのかなと思つた時期がありました。しかし授業を終え練習をして自宅に帰宅すると、母が夕飯を作って待っていてくれ、改めて両親に感謝するとともに、野球で結果を出したいとより強く思うようになりました。

大学二年の秋のリーグ戦、私はメンバーには入っていませんでしたが、結果を出せないままでした。何をやっても上手くいかずどうしたらいいのかからは気が持ちを切り替え、練習に没頭しました。そしてリーグ最終戦、勝てば優勝の場面で私はマウンドに立つことができ、優勝に少しでも貢献できたと思うと、とても嬉しく、すぐに両親に連絡して優勝

報告することができよかったです。静岡リーグ優勝し東海大会では二戦目で負けてしまい、二戦目負ければ終わりの試合に私は登板し、人生初の完全試合をすることができました。ノーヒットノーランは何回かしたことがあったが、完全試合は初、そして東海大会史上初ということもあり、多くの人に祝福してもらうことができました。試合が終わる、携帯を見たら、ネットやSNSを見た方々からたくさん連絡があり、そこで初めて自分は完全試合の凄さというものを実感しました。この結果は自分一人の力で掴んだものではないと思います。

監督、コーチ、野球部に携わってくれた方々、チームメイト、そして家族の支えがあつての結果だと思っています。今後も感謝の気持ちを忘れず、学生生活を送っていきたくと思っていますので、今後ともご声援のほどよろしくお願いいたします。



国際総合政策学科四年

松原大輔

日本大学での学生生活も早いもので四年目を迎えました。四年になると、二日一日の流れがとても速く感じ、一瞬一瞬を大切に過ごしていこうと思うようになりました。また仲間の大事さにもつくづく感じるようになってきました。今年も最終学年でもありますし、日本大学ゴルフ部主将として、チームを引っ張り、強く、チームワークの良い

ゴルフ部にするために日々練習に取り組んでいます。

私が日本大学に進学することを決めたきっかけは三つあります。まず一つ目は、日本大学ゴルフ部という伝統のある部活に入り、自分自身がゴルフの技術、または考え、人間性など、様々な分野で高められるのではないかと思い進学を決めました。二つ目は、私が高校生だった頃、日本大学ゴルフ部は東北福祉大学に団体戦などで負け越している状況でした。そこで私は、自らが入ることによって少しでも日本大学ゴルフ部に貢献し、団体戦で全国優勝したいという思いが強くなりました。三つ目は、もしゴルフが出来なくなってしまう、プロの道を諦めないといけないという状況に陥つたとしても、日本大学で学んだことは今後にとっても生きてくると思えますし、また就職をする際にも日本大学で学んだことを活かして、進んでいけるのではないかと考えていました。

いざ、日本大学に進学すると、ゴルフ部のレギュラーとして、一年生から試合に出場させて頂き、六月に行われた全日本大学対抗戦では日本大学ゴルフ部が優勝することが出来ました。チームの一員として、またレギュラーとして試合に出場して、少しでも貢献出来たことはとても嬉しかったです。その後十月に行われた信夫杯争奪全日本大学対抗戦で優勝することが出来て、私が目標としていたチームが全国優勝することを一年に二度も達成出来たことは本当に嬉しかった記憶が鮮明に残っています。

その後は、二年生の時に関東春季Aブロックリーグ戦で優勝し、三年生の時は、関東春季Aブロック対抗戦と全日本大学対抗戦で優勝

することが出来ました。この結果はチーム一丸となって、行ったことが良い流れにつながったと思っと思っています。

今年も、ゴルフ部の主将を務めさせて頂いているので、私が全員をリードし、強い団結力のあるチームにしていけるように日々精進していきますので、今後とも、ご指導、ご支援宜しくお願いします。



国際総合政策学科二年

星野陸也

日本大学国際関係学部に入學して二年目を迎えて、大学での生活や初めての親元を離れての生活も大分慣れ、充実した毎日を送れるようになりました。また、後輩もできるようになってから先輩として見本になればいいなという気持ちで過ごす様になりました。

私は幼い頃から体を動かすことが大好きでゴルフはもちろん、サッカーや水泳、卓球などの様々なスポーツを経験してきました。その中のゴルフは、他のスポーツにはない魅力や楽しさ、その人それぞれの性格がよく分かるスポーツであることから興味を持ち始めました。小学生の頃から試合に出場する様になり優勝した時の嬉しさと負け時の悔しい気持ちを実感しました。それから遊び半分でした。それからは段々とゴルフにのめり込んでいき、中学生からはプロを目指すという目標を掲げ本格的にゴ

ルフを始めました。

ゴルフを始めたのは小学生で、姉もゴルフをしていたので、よく一緒に練習する様になりました。その頃から地域の小さな試合に出場する様になり、何度か優勝し、勝つといった嬉しさや、負けた時の悔しさを知りました。中学生の時に初めて全国大会へ出場する事ができ、高校は地元ゴルフの名門校へ通いました。

大学に入り日本一を手にしたのは入学してすぐのことでした。昨年のレギュラー合宿でレギュラーに入る事ができ、関東リーグ戦でメンバーとして勝ちました。その次に行われる全日本大学対抗戦では、五人のメンバーに入る事ができ、みごと男女ともに優勝しました。一年生からその様な素晴らしい経験をすることができ、さらに上を目指し、練習にもさらに励むようになりました。その成果が、そこから、関東学生選手権で三位、日本学生ゴルフ選手権で五位、国民体育大会で四位と他の試合もベスト五に入る好成績を出し、さらに十一月に行われた文部科学大臣杯争奪全日本大学高校対抗戦で個人優勝といった日本のタイトルを二つ手に入れ、大変貴重な経験をすることができました。

今後ともさらに上を目指し、学業とゴルフに取り組んでいきたいと思っっていますので、今後ともご声援のほどよろしくお願いいたします。

各団体代表者

「文化会」



国際教養学科三年

坂本 早穂

日本大学国際関係学部に入學してから早くも三年が経とうとしています。入學したばかりの頃は、新しい環境に慣れることに必死で、大学生活を楽しめてなかったように思います。しかし、今では自分の興味、関心があることについて勉強し、友人もできたことで、充実した毎日を過ごしています。

私は大学に入學してからドイツ語を勉強し始めました。最初は名詞に定冠詞がついていることや不規則変化動詞がある等、覚えることが多くあり、難しい言語だと感じました。その一方で、少しずつ分かる単語が増えていき、文が読めるようになった時の喜びは大きかったです。その度に、途中で諦めずに続けていこうと思うことができました。独逸語圏研究会に入部したのも、少しでもドイツ語に触れる機会を増やそうと思ったからです。ドイツ語圏の文化研究や文献講読、試験対策と様々な活動を行っています。時には、分からない問題を先輩方に教えていただくこともありました。私が昨年の夏にウィーンに短期留学に行くことを決意したのも、部活を通して出会った先輩方の話を聞くことができたからです。今は、部長として色々な活動がで

きるようにしたいと思っています。

私は今回、文化会の会長を務めさせてもらっています。しかしながら、具体的に何をすればいいのかわからず、戸惑いました。その様な状況で、萌芽祭の展示を行うことになりました。今回の展示を行うにあたって、前年度の文化会会長からいただいたアドバイスをもとに、参加団体の皆さんと協力して計画を進めていきました。また、学生課の方にもサポートをしていただきました。多くの方々のおかげで萌芽祭の展示を行うことができ、大変嬉しく思います。今回の展示で、一部の部活だけですが、交流ができたことに感謝しています。文化会全体でイベント等を行う機会が少ないので、何かできることがあればと思っています。

大学生活も残り少なくなり、時の流れの早さを感じます。私は時間の使い方があまり上手くないので、限られた時間を有効に使えるようになりたいと思います。また、大学生活で得たことを活かせるように努力したいと思います。今回、このような機会をいただけたことで、自分の大学生活を振り返ることができ、よかったですと感じています。ありがとうございます。

「体育会」



国際総合政策学科四年

武藤 航至

初めまして。日本大学国際関係

学部国際総合政策学科三年の武藤航至と申します。性格は温厚で成績は中位のどこにでもいるような大学生です。私が日本大学国際関係学部に入學して早くも三年も経ちました。私が入學したころは大学生活とは何たるものかまだ分からず、日々不安との闘いでしたが、その中でも徐々に友人が出来、それらの友人達のおかげで今では楽しい大学生活を送っております。

私は中学生のころから柔道をしていました。しかし強くはありません。最初は先輩に誘われて「まあやってみるか」という漠然とした気持ちで始めた柔道ですが、今ではそこでしか出来ない友人関係や貴重な経験を得ることが出来たので、柔道を持っております。なぜなら柔道は日本古来の武道であり、他のスポーツでは教えられない「礼儀」を最も重視している競技だからです。私は大学に入って三年間を過ごしてきて、この礼儀というものの重要性を痛感させられました。なぜなら、大学は高校のときのように毎日部活があつて先生方に管理されている場ではなく、全て自分の責任で活動しなくてはならない場であるからです。私は目上の方に対する態度二つにしてみても、明らかにこれはおかしいという場面を何度も目にしてきました。そして高校卒業後すぐに就職して社会に出た友人と話す機会があり、話してみると、同じ年齢であるにも関わらず人間としての重みが全く違つたものでありました。そこで私は自分の考え方がどれだけ甘いかわり認識することが出来、危機感を持つことが出来ました。それらの経験から私は「礼儀」こそ最も基本的で成長の基盤であるとの考えを持

ちました。

私にとつて今年度は、勝負の年であると思っております。なぜなら今年から柔道部部長と体育会会長という役職を拝命し、尚且つ私の第一志望の就職先の試験対策も本格的に始まったからです。私は今まで組織の長という立場に立つてことがありませんでした。それ以前にそういう役職にはつきたくないと思つておりました。しかし、前々任、前任の体育会会長から推薦を頂き、その活動を間近で見えるうちにこれは今までの自分を変える良い機会であると感じ、この伝統ある体育会会長という大役を引き受けさせていただきます。

一年という短い任期ですが、この素晴らしい伝統を引き継ぐことに誇りを持ち、誠心誠意努力していきますのでどうか体育会をよろしく願います。

「富桜祭」



国際総合政策学科四年

野間口 健

日本大学国際関係学部に入學して三年という月日が経ちました。私は、富桜祭実行委員長として富桜祭を成功させる為に実行委員と共に、活動しています。今年度は、歴代の実行委員所属人数の中でも多く一年、二年、三年合わせて百三十人近い人数になりました。大規模な組織になるほど、統括するのが難しく、自分の限界を感じ

る事が多くなり、どこまで伝えていいのか、どのように伝えればいいのか、言葉一つでも、全体のモチベーションに関わると知り、悩むことも多くなりました。私の中で、上に立つた以上、弱音を言わないことが私の中の決め事でした。自分が見てきた歴代の委員長がそうしていたように。しかし、三年も一緒に活動してきた仲間には、隠していることに気付かれていました。話を聞いてくれるだけですごく心が楽になりました。仲間たちと作れる富桜祭も今年が最後です。委員長の仕事も残り三ヶ月、仲間たちと共に、より良い富桜祭を作れば良いと思います。

そして、今年の富桜祭のテーマは「繋げよう世界の和」とし、実行委員全体で作りをあげています。国際関係の特色である国際交流を富桜祭でも活かせるかなと思います。

私自身、富桜祭実行委員の委員長として、たくさんの人と関わり、多くの事を学びました。人に自分の考えを伝える難しさ、多人数を統括し一つの事を作りあげる難しさ。大変な事は、たくさんあります。その一方、多くの喜び、楽しさを感じながら、活動する事が出来ています。来客者には富桜祭を楽しんでもらう事は、もちろんですが、実行委員も当日を楽しみながら富桜祭を運営出来たらなと思います。多くの人が楽しんでもらえるように残り数ヶ月ですが頑張りたいと思います。



平成27年度 事業報告

- 1 国際関係学部校友会会長賞等授与
平成27年度日本大学国際関係学部在学学生から、次の者が国際関係学部長から推薦された。
 - ・校友会会長賞（副賞：奨励金）は、国際関係学部3名に贈られ平成28年3月25日の卒業式当日、グランドプリンスホテル新高輪において授与式が行われた。
 - ・校友会優秀賞（副賞：奨励金）は、国際関係学部2名1団体及び短期大学部1名1団体に贈られ平成28年3月25日の卒業式当日、グランドプリンスホテル新高輪において授与式が行われた。
 - ・校友会優秀賞（副賞：奨学金）は、国際関係学部3名に贈られ平成28年4月2日開講式当日授与式が行われた。
 - ①校友会会長賞（副賞：奨励金）
中尾 光太郎（国際総合政策学科4年） 本間 敦博（国際教養学科4年）
麻生 雅義（国際総合政策学科4年）
 - ②校友会優秀賞（副賞：奨励金）
ダニエル・ムイバ・キトニー（国際教養学科4年） 柿沼 友哉（国際教養学科4年）
ゴルフ部（団体）
中嶋 千里（食物栄養学科2年） 室伏ゼミ（団体）
 - ③校友会優秀賞（副賞：奨学金）
嘉代 誠（国際総合政策学科2年） 松原 大輔（国際総合政策学科3年）
星野 陸也（国際総合政策学科1年）
- 1 スマホ・携帯ストラップ
1,100部を平成27年4月国際関係学部・短期大学部（三島）各学科の新入生全員に対して入学祝として渡した。
- 1 会報発行
会報46号を平成27年9月1日付け22頁 21,300部を発行した。
- 1 各事業に対する補助
 - ①国際同窓会及び山形県支部に対する補助
 - ②大学の体育会に対する補助
 - ③箱根駅伝応援（予選会含む）に対する補助
- 1 常任幹事会
平成27年6月6日（土）16時30分から、国際関係学部本校舎 校舎15号館5階において開催した。
- 1 幹事会
平成27年6月6日（土）17時30分から、国際関係学部本校舎 校舎15号館5階において開催した。
- 1 総会並びに懇親会
平成27年7月18日（土）16時から、みしまプラザホテルにおいて開催した。
- 1 国際校友会公式WEBサイト更新
平成27年4月から公式WEBサイト（ホームページ）に年間5回に渡り校友会行事を写真集として更新しました。
- 1 就職合同面接会
平成27年9月11日（金）13時から17時まで、国際関係学部三島駅北口校舎6階に於いて国際関係学部・短期大学部の卒業予定者に対する就職支援の一環とした合同面接会を開催した。（参加企業 20社：参加学生 59名：内定者 16名）
- 1 箱根駅伝応援
平成28年1月3日（日）復路スタート応援地点で応援した。また、平成28年1月2日（土）往路ゴール応援地点及び平成28年1月3日（日）復路スタート応援地点で国際関係学部チアリーディング部・文化会所属吹奏楽部の学生が応援に参加した。

平成27年度 収支決算書 (平成27年4月1日～平成28年3月31日) (単位:円)

支 出 の 部				取 入 の 部			
項 目	予 算 額	決 算 額	差 額	項 目	予 算 額	決 算 額	差 額
奨 学 費	460,000	390,000	70,000	会 費 取 入	130,800,000	13,348,000	452,000
日大スポーツ購入費	0	99,900	△99,900	雑 取 入	650,000	914,163	△264,163
校友会報発行費	500,000	687,960	△187,960				
各科同窓会等補助	150,000	130,000	20,000				
学生団体補助	800,000	133,600	666,400				
総会並びに懇親会費	1,000,000	1,257,248	△257,248				
箱根駅伝応援補助	860,000	865,663	△5,663				
本部校友会費	470,000	470,000	0				
入学記念品費	520,000	510,840	9,160				
卒業記念品費	2,100,000	2,660,000	△560,000				
会議会合費	300,000	282,907	17,093				
通信運搬費	1,800,000	2,016,281	△216,281				
ホームページ運営費	400,000	397,440	2,560				
事務費	570,000	984,793	△414,793				
会員名簿作成費	200,000	125,766	74,234				
就職合同面接会運営費	200,000	269,702	△69,702				
日本大学130周年記念寄付金	100,000	100,000	0				
雑費	800,000	697,664	102,336				
国際関係学部校友会奨学金支援基金	500,000	500,000	0				
予備費	100,000	100,000	0				
予 計	11,830,000	12,679,764	△849,764	計	14,450,000	14,262,163	187,837
基金繰入額	0	0	0	基金繰出額	0	0	0
次年度繰越金	28,784,885	27,747,284	1,037,601	前年度繰越金	26,164,885	26,164,885	0
(繰越金)	28,784,885	27,747,284	1,037,601				
支出の部合計	40,614,885	40,427,048	187,837	収入の部合計	40,614,885	40,427,048	187,837

貸借対照表 (平成27年3月31日現在) (単位:円)

借			貸		
項 目	方 金	額	項 目	方 金	額
普 通 預 金		42,747,284	基 金		19,140,000
定 期 預 金		4,140,000	前年度繰越金		19,140,000
			本年度繰入額		0
			本年度繰出額		0
			次年度繰越金		27,747,284
			繰越金		27,747,284
合 計		46,887,284	合 計		46,887,284

基金の内訳 (単位:円)

項 目	前年度繰越額	本年度繰入額	本年度繰出額	合 計
基 金	19,140,000	0	0	19,140,000
日本大学創立150周年記念事業基金準備金	6,380,000	0	0	6,380,000
国際関係学部創立50周年記念事業基金準備金	6,380,000	0	0	6,380,000
三島学園開設75周年記念事業基金準備金	6,380,000	0	0	6,380,000
計	19,140,000	0	0	19,140,000

そ の 他

平成27年度において、国際関係学部3期同期会より、118,803円を国際関係学部校友会に寄付頂き、雑収入に計上しました。

平成27年度収支について関係帳簿並びに証拠書類を精査いたしましたが、記帳その他正確であることを認めます。

平成28年4月28日

会計監査 宮 川 守 ㊞
会計監査 藤 本 文 彦 ㊞

平成28年度事業計画

- 1 国際関係学部校友会会長賞等授与（副賞：奨励金もしくは奨学金）
 日本大学国際関係学部及び短期大学部（三島校舎）を平成28年3月卒業・4月進級の予定者を対象とする。

・校友会会長賞並びに奨励金	国際関係学部	4年卒業予定者	3名
・校友会優秀賞並びに奨励金	国際関係学部	4年卒業予定者	4名
	短期大学部（専攻科含む）	2年卒業予定者	2名
・校友会会長賞並びに奨学金	国際関係学部	2・3年在学生	4名
	短期大学部（専攻科含む）	1年在学生	2名
- 1 スマホ・携帯ストラップ
 950個を平成28年4月大学院及び国際関係学部並びに短期大学部（三島校舎）各学科の新入生全員に対して入学祝として渡す。
- 1 会報発行
 会報47号（平成28年9月1日付）22頁 19,000部発行予定
- 1 各科同窓会等補助
 - ①各科同窓会及び支部に対する補助
 - ②大学体育会・文化会に対する補助
 - ③箱根駅伝応援（予選会含む）に対する補助
 - ④伊豆マラソン大会応援に対する補助
 - ⑤全日本大学女子駅伝対校選手権大会応援に対する補助
 - ⑥ホームカミングデー・富桜祭物産店参加に対する補助
- 1 常任幹事会
 平成28年6月4日（土）16時30分から、国際関係学部本校舎 校舎15号館において開催する。
- 1 幹事会
 平成28年6月4日（土）17時30分から、国際関係学部本校舎 校舎15号館において開催する。
- 1 総会並びに懇親会
 平成28年7月16日（土）16時から、みしまプラザホテルにおいて開催する。
- 1 国際校友会公式WEBサイト更新
- 1 就職合同面接会
 平成28年9月16日（金）国際関係学部三島駅北口校舎に於いて国際関係学部・短期大学部の平成28年度卒業予定者等を対象とした県内本学出身代表者企業参加による合同面接会を開催する。
- 1 箱根駅伝予選会応援
 平成28年10月15日（土）国営昭和記念公園コースのスタート・ゴール地点及び中間地点で応援する。
- 1 全日本大学女子駅伝応援
 平成28年10月23日（日）仙台市陸上競技場スタート応援地点及び仙台市役所前ゴール応援地点で応援する。
- 1 ホームカミングデー・物産店参加
 平成28年10月29日（土）30日（日）に開催される第66回富桜祭に校友会主催による地元特産物等の販売に参加する。
- 1 箱根駅伝応援
 平成29年1月3日（火）復路スタート応援地点で応援する。また、平成29年1月2日（月）往路ゴール応援地点及び平成29年1月3日（火）復路スタート応援地点で国際関係学部チアリーディング部・文化会所属吹奏楽部の学生が応援に参加する。
- 1 伊豆マラソン大会応援
 平成29年2月12日（日）修善寺駅北口スタート応援地点及び三島市役所別館ゴール応援地点で国際関係学部チアリーディング部・文化会所属吹奏楽部の学生が応援に参加する。

平成28年度収支予算書（平成28年4月1日～平成29年3月31日）（単位:円）

支出の部				収入の部			
項目	本年度予算額	前年度予算額	差額	項目	本年度予算額	前年度予算額	差額
奨学費	390,000	460,000	△ 70,000	会費収入	13,880,000	13,800,000	80,000
校友会報発行費	460,000	500,000	△ 40,000	雑収入	760,000	650,000	110,000
各科支部等補助	380,000	150,000	230,000				
学生団体補助	800,000	800,000	0				
総会並びに懇親会費	1,070,000	1,000,000	70,000				
箱根駅伝応援等補助	970,000	860,000	110,000				
本部校友会会費	470,000	470,000	0				
入学記念品費	520,000	520,000	0				
卒業記念品費	2,750,000	2,100,000	650,000				
会議会合費	300,000	300,000	0				
通信運搬費	2,000,000	1,800,000	200,000				
ホームページ運営費	400,000	400,000	0				
事務費	1,630,000	570,000	1,060,000				
会員名簿作成管理費	200,000	200,000	0				
就職合同面接会運営費	270,000	200,000	70,000				
日本大学130周年記念寄付金	100,000	100,000	0				
雑費	700,000	800,000	△ 100,000				
国際関係学部校友会奨学金支援基金	300,000	500,000	△ 200,000				
予備費	100,000	100,000	0				
計	13,810,000	11,830,000	1,980,000	計	14,640,000	14,450,000	190,000
基金繰入額	300,000	0	300,000	基金繰出額	0	0	0
次年度繰越金	28,277,284	28,784,885	△ 507,601	前年度繰越金	27,747,284	26,164,885	1,582,399
（繰越金）	28,277,284	28,784,885					
支出の部合計	42,387,284	40,614,885	1,772,399	収入の部合計	42,387,284	40,614,885	1,772,399

基金の内訳

（単位:円）

項目	前年度繰越額	本年度繰入額	本年度繰出額	合計
基金	19,140,000	300,000	0	19,440,000
日本大学創立150周年記念事業基金準備金	6,380,000	100,000	0	6,480,000
国際関係学部創立50周年記念事業基金準備金	6,380,000	100,000	0	6,480,000
三島学園開設75周年記念事業基金準備金	6,380,000	100,000	0	6,480,000
計	19,140,000	300,000	0	19,440,000

平成 28 年度役員

任期(H27.4.1 ~H30.3.31)

役職	氏名(在学年度)
教養	
幹事	安東安生(29・30)
幹事	寺崎哲郎(29・30)
幹事	関哲男(29・30)
幹事	森伸夫(30・31)
幹事	道見俊廣(30・31)
幹事	小野武(30・31)
幹事	馬場妙子(30・31)
幹事	屋鋪公平(30・31)
幹事	根岸元宏(31・32)
幹事	渡部浩司(31・32)
幹事	大村日出雄(32)
幹事	甲田知由(33)
幹事	吉野洋一(35)
幹事	鈴木肇(35)
幹事	御供政紀(35・36)
幹事	小澤文郎(36)
幹事	坂口正剛(37)
幹事	小石川宣照(37)
幹事	遠藤日出夫(37)
幹事	渡辺博夫(37)
幹事	杉田朋昭(39)
幹事	両角勇(42)
幹事	江川洋(42)
幹事	林田孝二(43)
幹事	藤幡俊量(46)
幹事	高藤省三(49)
幹事	瀧本博(53)
桜文会	
幹事	岩崎尚枝(41・42)
幹事	小永井京子(43・44)
幹事	高橋真理子(44・45)
幹事	榎本睦美(45・46)
幹事	石井千枝子(46・47)
幹事	松村啓子(51・52)
幹事	諏訪部昭子(51・52)
幹事	斎藤千鶴子(51・52)
幹事	佐野有美(52・53)
幹事	大塚久子(52・53)
幹事	瀬川晶子(53・54)
幹事	武田裕美(55・56)
幹事	勝亦幾代(56・57)
幹事	北川早苗(56・57)
幹事	山崎睦子(57・58)

役職	氏名(在学年度)
会長	横山雅人(56~59)
副会長	宮下公雄(54~57)
副会長	濱田義之(45)
副会長	山田浩子(41・42)
副会長	江本博勝(46・47)
副会長	野中美香(55・56)
副会長	弓場重明(44・45)
幹事長	田中由雄(42・43)
常任幹事 (庶務担当)	関野幹雄(48・49)
常任幹事 (庶務担当)	関野浩二(57~60)
常任幹事 (会計担当)	山瀬匠(08・09)
常任幹事 (会計担当)	塩谷典子(56~59)
常任幹事	市川紀子(35・36)
常任幹事	伊奈敏文(41・42)
常任幹事	染谷徳昭(42・43)
常任幹事	山口良児(43・44)
常任幹事	平岩美知子(44・45)
常任幹事	久保田博明(45・46)
常任幹事	遠藤晶子(45・46)
常任幹事	早川清文(45・46)
常任幹事	西野和衛(46・47)
常任幹事	瀬川宏(47・48)
常任幹事	神戸絹代(47・48)
常任幹事	多田清吾(47・48)
常任幹事	鈴木允(48)
常任幹事	露木ひろみ(52・53)
常任幹事	斎藤聡(54~57)
常任幹事	松原裕二(54~57)
常任幹事	西田昭子(57・58)
常任幹事	高野誠(57~60)
常任幹事	勝又義博(57~60)
常任幹事	平澤佳代子(58・59)
常任幹事	野田正人(62・63)
常任幹事	久保田裕子(01・02)
常任幹事	藤澤博隆(03・04)
常任幹事	渡邊孝哉(09・10)
会計監査	宮川守(47・48)
会計監査	藤本文彦(52・53)

役職	氏名(在学年度)
顧問	柴田正(41・42)
顧問	小早川隆義(42・43)
顧問	相田信次(44・45)
参与	渡辺洋子(35・36)
参与	岩崎一雄(43・44)

公式WEBサイト



URL <http://www.nu-ir-koyukai.jp/>

役職氏名 (在学年度)	役職氏名 (在学年度)	役職氏名 (在学年度)
幹事 土屋時子 (43・44)	幹事 金城三十二 (59・60)	幹事 高野直美 (58・59)
幹事 柴田敬子 (44・45)	幹事 武井直子 (60・61)	幹事 阿部昭子 (59・60)
幹事 川村千代子 (45・46)	幹事 土佐谷泰子 (61・62)	幹事 神田留美子 (60・61)
幹事 辻 緑 (45・46)	幹事 久保和之 (63・01)	幹事 白石 忍 (63・01)
幹事 小林秀実 (45・46)	幹事 田伏正和 (01・02)	幹事 渡邊陽子 (01・02)
幹事 杉本清美 (46・47)	幹事 名雪しげみ (01・02)	幹事 高鹿真弓 (03・04)
幹事 佐藤奈津美 (47・48)	幹事 菅江 稔 (02・03)	幹事 森川容子 (03・04)
幹事 鈴木佳津江 (47・48)	幹事 明石知恵美 (02・03)	幹事 古屋美帆 (06・07)
幹事 神田みつ子 (47・48)	幹事 川原浩貴 (03・04)	幹事 山崎幸恵 (08・09)
幹事 勝又昌代 (48・49)	幹事 小野和彦 (03・04)	幹事 林 隆子 (09・10)
幹事 原 康子 (48・49)	幹事 坂口聖剛 (03・04)	幹事 成島敦子 (09・10)
幹事 碓井久美子 (49・50)	幹事 今川高宏 (04・05)	幹事 星 美保子 (10・11)
幹事 岩田智加子 (50・51)	幹事 町野智彦 (05・06)	幹事 工藤美咲 (10・11)
幹事 大沼めぐみ (50・51)	幹事 池田昌史 (08・09)	商経・一部
幹事 峰田富美子 (51・52)	幹事 成田伸行 (08・09)	幹事 萩野谷 肇 (41・42)
幹事 山口智佳子 (51・52)	桜栄会	幹事 上田定義 (41・42)
幹事 堤 令子 (52・53)	幹事 山口玲子 (34・35)	幹事 加藤久貴 (46・47)
幹事 白井道代 (52・53)	幹事 阿部麻子 (35・36)	幹事 秋山稔明 (46・47)
幹事 石橋治代 (52・53)	幹事 木崎有里子 (35・36)	幹事 野田 栄 (47・48)
幹事 岩崎美浪 (52・53)	幹事 渡辺かよ子 (35・36)	幹事 辻本真由美 (51・52)
幹事 竹内厚子 (52・53)	幹事 板垣和代 (36・37)	幹事 吉川浩司 (53・54)
幹事 宮澤正江 (52・53)	幹事 佐野茂子 (36・37)	幹事 後藤幸江 (58・59)
幹事 遠藤豊美 (52・53)	幹事 小泉陽子 (36・37)	幹事 齋藤みどり (59・60)
幹事 長谷川規子 (52・53)	幹事 中村満里子 (37・38)	幹事 長澤裕子 (59・60)
幹事 松川順子 (52・53)	幹事 川口裕子 (37・38)	幹事 中山由美子 (61・62)
幹事 松崎光子 (52・53)	幹事 米山日出子 (37・38)	幹事 南 まり子 (03・04)
幹事 中澤小雪 (53・54)	幹事 金井美智子 (38・39)	幹事 川口恭子 (04・05)
幹事 齋藤裕子 (53・54)	幹事 小坂照子 (38・39)	幹事 白川美保 (05・06)
幹事 長田智子 (53・54)	幹事 塩谷まさよ (38・39)	幹事 小柴慶子 (06・07)
幹事 押見恵美子 (53・54)	幹事 井原康恵 (38・39)	商経・二部
幹事 船石圭子 (53・54)	幹事 望月千登世 (38・39)	幹事 杉山敏明 (34・35)
幹事 四條里美 (53・54)	幹事 浅田義志子 (39・40)	幹事 渡辺 勝 (38・39)
幹事 鷺巣かほる (53・54)	幹事 秋山幸子 (39・40)	幹事 久保田 勝 (38・39)
幹事 藤原和美 (53・54)	幹事 関口 瑞 (39・40)	幹事 佐野勝己 (39・40)
幹事 原田純子 (54・55)	幹事 福尾つや子 (39・40)	幹事 土屋忠得 (40・41)
幹事 池谷美津子 (54・55)	幹事 神部文子 (39・40)	幹事 鈴木正八 (44・45)
幹事 中澤由利子 (54・55)	幹事 伊達伸子 (40・41)	幹事 津田正克 (50・51)
幹事 佐伯絵里子 (54・55)	幹事 高橋美鶴 (40・41)	幹事 甲斐幸博 (51・52)
幹事 伊藤若菜 (54・55)	幹事 石黒榮美子 (41・42)	幹事 甲斐忠則 (51・52)
幹事 吉田麻理子 (54・55)	幹事 鳥羽山資子 (41・42)	幹事 後藤善夫 (52・53)
幹事 藤田建江 (55・56)	幹事 秋山悦子 (41・42)	幹事 加藤喜章 (53・54)
幹事 小澤里佳子 (56・57)	幹事 渡辺あき子 (41・42)	幹事 鈴木理平 (54・55)
幹事 深津久美子 (56・57)	幹事 嶋 美也子 (41・42)	幹事 内野祥司 (55・56)
幹事 石谷美智子 (56・57)	幹事 伊藝 睦 (41・42)	幹事 守野敏也 (55・56)
幹事 田中恵子 (57・58)	幹事 駿藤春代 (42・43)	幹事 山田 良 (55・56)
幹事 嶋 由樹子 (57・58)	幹事 石原泰代 (42・43)	幹事 杉山勝行 (57・58)
幹事 鈴木江利子 (57・58)	幹事 影山貴美枝 (43・44)	幹事 黒田文量 (59・60)

役職	氏名 (在学年度)	役職	氏名 (在学年度)	役職	氏名 (在学年度)
幹事	小野 順子 (14・15)	幹事	遠藤 理愛 (05・06)	幹事	鈴木 敦子 (58・59)
幹事	栗田 裕子 (15・16)	幹事	神尾 かほり (05・06)	幹事	武藤 さゆり (58・59)
幹事	河原崎 朱里 (15・16)	幹事	田中 里都美 (06・07)	幹事	荻沢 洋子 (58・59)
幹事	平澤 怜子 (15・16)	幹事	鈴木 寛子 (06・07)	幹事	山田 明子 (58・59)
幹事	榊原 友希 (15・16)	幹事	山本 静香 (06・07)	幹事	鈴木 佳乃 (58・59)
幹事	田村 美沙子 (15・16)	幹事	佐藤 純子 (06・07)	幹事	中條 朝子 (59・60)
幹事	植松 明菜 (15・16)	幹事	三須 洋美 (06・07)	幹事	加藤 容子 (59・60)
幹事	荻島 宏予 (15・16)	幹事	齊藤 真由美 (06・07)	幹事	藤波 佳乃 (59・60)
幹事	渡邊 裕未 (15・16)	幹事	和泉 久美 (07・08)	幹事	藤井 由紀子 (60・61)
幹事	荒井 沙織 (15・16)	幹事	小野 澤美和 (07・08)	幹事	稲葉 桂子 (60・61)
幹事	宇野 浩吏 (16・17)	幹事	小林 世以子 (07・08)	幹事	穂谷 野弥生 (60・61)
幹事	星野 成幸 (16・17)	幹事	中林 香子 (07・08)	幹事	小島 みちよ (60・61)
幹事	渡邊 尚 (16・17)	幹事	水谷 鯉恵 (07・08)	幹事	久保 玲華 (61・62)
幹事	松島 佳奈子 (16・17)	幹事	横田 忍 (07・08)	幹事	山下 朋子 (61・62)
幹事	中西 麻純 (16・17)	幹事	中橋 智子 (07・08)	幹事	鷲尾 貴子 (62・63)
幹事	増島 清美 (16・17)	幹事	神戸 亜里沙 (08・09)	幹事	田上 順子 (62・63)
幹事	萩原 美香 (16・17)	幹事	兼房 はな (08・09)	幹事	山口 美樹 (62・63)
幹事	平川 綾乃 (16・17)	幹事	石崎 由香 (08・09)	幹事	大須賀 美穂 (62・63)
幹事	綾部 久美子 (16・17)	幹事	佐藤 美幸 (08・09)	幹事	櫻田 智栄美 (63・01)
幹事	桑山 理沙 (16・17)	幹事	大水 由佳 (09・10)	幹事	三宅 理砂子 (63・01)
幹事	飯田 泰恵 (17・18)	幹事	田村 理絵 (09・10)	幹事	野上 香 (63・01)
幹事	石川 裕里佳 (17・18)	幹事	内田 恵 (09・10)	幹事	日吉 美由紀 (63・01)
幹事	中山 朋美 (17・18)	幹事	渡邊 明子 (09・10)	幹事	勝俣 千穂 (63・01)
幹事	田中 沙季 (17・18)	幹事	植野 敦子 (09・10)	幹事	田村 尚子 (01・02)
幹事	堀田 裕貴 (17・18)	幹事	佐野 文美 (10・11)	幹事	杉村 智恵 (01・02)
幹事	隅田 優美 (17・18)	幹事	鞍本 鮎美 (11・12)	幹事	湯原 里美 (01・02)
幹事	岩代 美貴 (18・19)	幹事	尾間 裕仁 (11・12)	幹事	市川 智香 (01・02)
幹事	加藤 未奈 (18・19)	幹事	笠原 奈津子 (11・12)	幹事	岡本 ゆう子 (02・03)
幹事	澤谷 友香里 (18・19)	幹事	宮田 朋子 (11・12)	幹事	大山 妙子 (02・03)
幹事	豊田 彩香 (18・19)	幹事	田角 典子 (12・13)	幹事	羽田 真理子 (02・03)
幹事	野口 明日香 (18・19)	幹事	小林 由佳 (12・13)	幹事	望月 ゆりか (02・03)
幹事	藤井 里奈 (18・19)	幹事	赤川 智海 (12・13)	幹事	安田 ひとみ (03・04)
幹事	松井 志保美 (18・19)	幹事	小出 祐子 (12・13)	幹事	西村 直子 (03・04)
幹事	萬両 美幸 (18・19)	幹事	峯松 園美 (13・14)	幹事	宮本 久美子 (03・04)
幹事	福島 健嗣 (18・19)	幹事	山田 美穂 (13・14)	幹事	渡邊 真理子 (03・04)
幹事	村松 海 (18・19)	幹事	遠藤 友海 (13・14)	幹事	小澤 知子 (03・04)
幹事	廣江 亜佐美 (18・19)	幹事	清水 磨希子 (13・14)	幹事	出口 幸子 (04・05)
幹事	富井 映里 (19・20)	幹事	高橋 由実 (13・14)	幹事	井上 雅代 (04・05)
幹事	木下 涼平 (19・20)	幹事	米 永寿子 (13・14)	幹事	西岡 かおり (04・05)
幹事	中安 美咲 (19・20)	幹事	岩田 直子 (14・15)	幹事	田村 美保 (04・05)
幹事	藤井 ゆかり (19・20)	幹事	大沼 秋桜子 (14・15)	幹事	岩下 志保 (05・06)
幹事	山本 靖子 (19・20)	幹事	高橋 美絵子 (14・15)	幹事	関屋 園子 (05・06)
幹事	三宅 ひとみ (19・20)	幹事	石渡 麻史 (14・15)	幹事	渡邊 千史 (05・06)
幹事	青木 裕也 (20・21)	幹事	服部 直美 (14・15)	幹事	川口 由美子 (05・06)
幹事	小林 可南子 (20・21)	幹事	秋山 絵操 (14・15)	幹事	池谷 尚美 (05・06)
幹事	石政 未希 (20・21)	幹事	山田 真理子 (14・15)	幹事	中村 理恵子 (05・06)
幹事	岩井 友紀 (20・21)				

役職	氏名(在学年度)	役職	氏名(在学年度)	役職	氏名(在学年度)
幹事	佐上菊二(58~61)	幹事	天野真由香(25・26)	幹事	澤木心美(20・21)
幹事	小塚敏久(58~61)	幹事	恩田剛弥(25・26)	幹事	杉本愛季(20・21)
幹事	横溝泰蔵(59~62)	幹事	齊藤花衣(25・26)	幹事	西原萌恵(20・21)
幹事	池尻敏広(59~62)	幹事	林田千尋(25・26)	幹事	森山麻里奈(20・21)
幹事	土田洋二(60~63)	幹事	野村 歩(25・26)	幹事	横山千恵(20・21)
幹事	桑原健治(60~63)	幹事	駒形亜海(26・27)	幹事	市川佳夏子(20・21)
幹事	木俣かおり(61~01)	幹事	中嶋千里(26・27)	幹事	青木萌子(21・22)
幹事	増原伸一(61~01)	幹事	大島由樹(26・27)	幹事	長田知郁(21・22)
幹事	犬塚重暁(63~03)	幹事	加藤早織(26・27)	幹事	清水 遥(21・22)
幹事	野口 厚(63~03)	幹事	高橋美帆(26・27)	幹事	時吉結巳(21・22)
幹事	藤田 隆(63~03)	幹事	田畑礼子(26・27)	幹事	湯山菜名(21・22)
幹事	廣岡達郎(01~04)	幹事	宮澤理紗(26・27)	幹事	矢田さき(21・22)
幹事	齋藤 実(01~04)	幹事	吉田まゆ子(26・27)	幹事	清水祥子(21・22)
幹事	佐藤淳悦(01~04)	幹事	長橋侑希(26・27)	幹事	小見山伊代(21・22)
幹事	高橋博樹(01~04)	工 科		幹事	山下あゆ(21・22)
幹事	長谷川哲夫(01~04)	幹事	宮下正俊(39・40)	幹事	小嶋絵梨花(21・22)
幹事	村上東洋男(01~04)	幹事	菅沼 弘(39・40)	幹事	桑原里沙(22・23)
幹事	須田啓一郎(01~04)	幹事	向笠 肇(41・42)	幹事	小原美妃子(22・23)
幹事	椿 昌寛(01~04)	幹事	土屋貞明(42・43)	幹事	塩谷彰子(22・23)
幹事	南 敦子(02~05)	幹事	渡辺 清(42・43)	幹事	朝比奈涼子(22・23)
幹事	門脇正明(02~05)	幹事	赤地哲也(42・43)	幹事	篠原莉那(22・23)
幹事	藤原誠吾(02~05)	幹事	吉田 力(44・45)	幹事	奈良彩夏(22・23)
幹事	前田智也(02~05)	幹事	長倉良幸(44・45)	幹事	原賀あかり(22・23)
幹事	坂井利彰(02~05)	幹事	三枝和彦(46・47)	幹事	渡邊愛菜(22・23)
幹事	小田純子(02~05)	幹事	勝間田太住(47・48)	幹事	川久有紀(22・23)
幹事	田辺裕司(02~05)	幹事	天野寿一(48・49)	幹事	鷗澤まゆか(22・23)
幹事	田松正樹(02~05)	幹事	大島裕二(52・53)	幹事	江打真衣(23・24)
幹事	西岡昌仁(02~05)	幹事	上原豊和(52・53)	幹事	澤田明日香(23・24)
幹事	鎌田文一(02~05)	幹事	西家勝彦(52・53)	幹事	諸星 楓(23・24)
幹事	沼尻正則(03~06)	幹事	久保田武生(52・53)	幹事	朝日健太(23・24)
幹事	若松はるか(03~06)	幹事	埜村光伸(53・54)	幹事	木下史恩(23・24)
幹事	三宅大介(03~06)	幹事	勝呂千明(53・54)	幹事	鈴木沙羅(23・24)
幹事	清水 建(03~06)	幹事	鈴木啓太郎(54・55)	幹事	田島理瑛(23・24)
幹事	小塚達郎(03~06)	国 際		幹事	深谷正城(23・24)
幹事	紅林美智子(03~07)	幹事	川口智彦(54~57)	幹事	堀 佑美佳(23・24)
幹事	佐藤治夫(04~07)	幹事	柳川浩昭(54~57)	幹事	守野恭介(23・24)
幹事	千野琢麿(04~07)	幹事	高野真一(54~57)	幹事	須藤静香(24・25)
幹事	渡辺将之(04~07)	幹事	諏訪部 健(55~58)	幹事	田中菜絵(24・25)
幹事	杉山文予(05~08)	幹事	木村貴美和(55~58)	幹事	石井さくら(24・25)
幹事	江島照美(05~08)	幹事	小松徳弘(56~59)	幹事	伊東亜珠沙(24・25)
幹事	室伏寛美(05~08)	幹事	平野雅之(56~59)	幹事	杉山亜梨沙(24・25)
幹事	田尻美三(05~08)	幹事	福田勝弘(56~59)	幹事	成田安実里(24・25)
幹事	青木 徹(05~08)	幹事	宇田隆康(56~59)	幹事	山田瑞歩(24・25)
幹事	大嶽龍一(05~08)	幹事	山本宏治(57~60)	幹事	山本芽生(24・25)
幹事	室伏太郎(05~08)	幹事	三浦 仁(57~60)	幹事	藤原 麗(24・25)
幹事	明石浩一(05~09)	幹事	横田 正(57~60)	幹事	満間恵子(24・25)
幹事	沖倉保宏(06~09)	幹事	森田克彦(58~61)	幹事	鈴木美優(25・26)
幹事	今川 慶(06~09)				

役	職	氏名(在学年度)	役	職	氏名(在学年度)	役	職	氏名(在学年度)
幹事	事	勝又智子(18~21)	幹事	事	原順子(12~15)	幹事	事	田中智康(06~09)
幹事	事	西岡基(18~21)	幹事	事	小澤有礼(12~15)	幹事	事	久芳仁(06~09)
幹事	事	緒方義明(18~21)	幹事	事	大野達男(12~15)	幹事	事	植松信二(06~09)
幹事	事	後藤奈津子(18~21)	幹事	事	太田孝一(13~16)	幹事	事	小林寿成(07~10)
幹事	事	祭興斌(18~21)	幹事	事	山川利雄(13~16)	幹事	事	斉藤美根子(07~10)
幹事	事	片柳健太(18~21)	幹事	事	浅野雄介(13~16)	幹事	事	瀬瀬健太郎(07~10)
幹事	事	松原慎(18~21)	幹事	事	本多加奈(13~16)	幹事	事	佐竹篤(07~10)
幹事	事	木佐木枝里(18~21)	幹事	事	山本彩子(13~16)	幹事	事	川野梨恵(07~10)
幹事	事	金井尊史(18~21)	幹事	事	勅使河原武史(13~16)	幹事	事	正木創一(08~11)
幹事	事	久保田真未(19~22)	幹事	事	相見大輔(13~16)	幹事	事	井上善史(08~11)
幹事	事	佐川彩子(19~22)	幹事	事	板橋紗綾香(13~16)	幹事	事	登ヶ谷祐人(08~11)
幹事	事	御所園智仁(19~22)	幹事	事	武田泰弘(13~16)	幹事	事	金子浩二(08~11)
幹事	事	阿部裕樹(19~22)	幹事	事	浅石友里子(13~16)	幹事	事	内田修(08~11)
幹事	事	佐久間仁輝(20~23)	幹事	事	渡邊頌子(13~16)	幹事	事	成田哲浩(09~12)
幹事	事	橋本康弘(20~23)	幹事	事	河野奈津子(14~17)	幹事	事	井上美由紀(09~12)
幹事	事	張替祐介(20~23)	幹事	事	脇田千草(14~17)	幹事	事	井上明子(09~12)
幹事	事	山下昌志(20~23)	幹事	事	綱島昇(14~17)	幹事	事	徳田瑞希(09~12)
幹事	事	本田怜央(20~23)	幹事	事	塚田泰章(14~17)	幹事	事	斉藤真規(10~13)
幹事	事	小林訓史(21~24)	幹事	事	杉町カウエ(14~17)	幹事	事	長岡福也(10~13)
幹事	事	中林広希(21~24)	幹事	事	小川淳(14~17)	幹事	事	筒井靖子(10~13)
幹事	事	野嶋一聡(21~24)	幹事	事	内村彩(14~17)	幹事	事	杉山祥啓(10~13)
幹事	事	白滝成美(21~24)	幹事	事	渡邊賢治(14~17)	幹事	事	大津留真紀(10~13)
幹事	事	茂木宏之(21~24)	幹事	事	井出知里(15~18)	幹事	事	大友仁美(10~13)
幹事	事	岡林将大(22~25)	幹事	事	井所博志(15~18)	幹事	事	佐野京子(12・13)
幹事	事	望月彩乃(22~25)	幹事	事	小倉宏紀(15~18)	幹事	事	鈴木亜希子(12・13)
幹事	事	松山直弘(22~25)	幹事	事	宮腰治憲(15~18)	幹事	事	園部真子(12・13)
幹事	事	大門由佳(22~25)				幹事	事	長谷川郁子(11~14)
幹事	事	石川雄大(22~25)	幹事	事	田野口皓太(15~18)	幹事	事	土元夏葉(11~14)
幹事	事	藤井健将(22~25)	幹事	事	菅家奈都美(15~18)	幹事	事	竹腰真裕子(11~14)
幹事	事	牧野竜太郎(23~26)	幹事	事	藁谷和正(17・18)	幹事	事	後藤暢宏(11~14)
幹事	事	福田泰祐(23~26)	幹事	事	岩井小百合(16~19)	幹事	事	竹村直(11~14)
幹事	事	今泉仁彰(23~26)	幹事	事	鈴木弘明(16~19)	幹事	事	木下真由美(11~14)
幹事	事	堀川未来夢(23~26)	幹事	事	黒子佳恵(16~19)	幹事	事	成田美雪(11~14)
幹事	事	深澤ほの香(23~26)	幹事	事	大森未奈子(16~19)	幹事	事	若月朋子(11~14)
幹事	事	日吉智(25・26)	幹事	事	笠倉諒(16~19)	幹事	事	齋藤久美絵(11~14)
幹事	事	中尾光太郎(24~27)	幹事	事	中山優貴(17~20)	幹事	事	川村友江(11~14)
幹事	事	本間淳博(24~27)	幹事	事	浅井啓悟(17~20)	幹事	事	猪狩博織(11~14)
幹事	事	麻生雅義(24~27)	幹事	事	芹沢崇(17~20)	幹事	事	山下政幸(11~14)
幹事	事	永田真希(24~27)	幹事	事	関谷紀志(17~20)	幹事	事	中村久美(11~14)
幹事	事	山本太郎(24~27)	幹事	事	長谷川孝洋(17~20)	幹事	事	鈴木さや夏(13・14)
幹事	事	佐野佑太(24~27)	幹事	事	勝呂孝(17~20)	幹事	事	川下知恵(12~15)
幹事	事	山本豪(24~27)	幹事	事	中島由人(17~20)	幹事	事	鹿内隼人(12~15)
幹事	事	高橋義典(24~27)	幹事	事	水野弥咲(17~20)	幹事	事	齋藤慎亮(12~15)
幹事	事	柿沼友哉(24~27)	幹事	事	笠原菜央子(17~20)	幹事	事	山本克幸(12~15)
幹事	事	前原唯之介(24~27)	幹事	事	古山結子(17~20)	幹事	事	拓植由美子(12~15)
			幹事	事	永野映吏可(18~21)	幹事	事	豊永有美子(12~15)

国際関係学部 校友会総会開催



国際関係学部校友会

選出された。議長には早川清文幹事、副議長には日吉智幹事、書記には西田昭子幹事が選出され、次の議事が報告及び審議された。

- 一 平成二十七年事業報告
- 一 平成二十七年決算報告
- 一 監査報告
- 一 平成二十八年事業計画(案)
- 一 平成二十八年年度予算(案)
- 一 平成二十八年新幹事等選出
- 一 国際関係学部校友会会長賞等給付規程・表彰基準改正に関する件
- 一 国際関係学部校友会関係物故者について
- 一 本部校友会関係行事等について
- 一 各科同窓会活動報告
- 一 その他

田中由雄幹事長から、平成二十七年事業報告がなされ、続いて平成二十七年決算報告が塩谷典子常任幹事(会計担当)から報告、藤本文彦会計監査から監査報告があり、卒業記念品費での卒業予定者数の増と事務費での各校友会出席者増による予算超過となった旨の追加説明が田中由雄幹事長からなされ、それぞれ承認された。

平成二十八年七月十六日(土)十六時からみしまプラザホテルにおいて総会が開催された。

江本博勝副会長の司会で昨年の総会から本年六月末日までに逝去された会員に対し黙祷をささげた。続いて野中美香副会長の開会が伝えられ進行された。横山雅人会長から今年度ボランティア活動の一環として本校舎(県道二十二号線)银杏並木歩道清掃を毎月第四日曜日九時から約一時間実施している。また、卒業生が母校を訪ね在学時代を振り返って頂く為のホームカミングデーと題して「富桜祭」開催期間内に開催するなどの説明と挨拶の後、校友会に功績があった角田義廣顧問・平井千枝顧問の両氏に対し感謝状及び記念品の贈呈がなされた。

続いて議事に移り、議長団・書記が

平成二十八年事業計画(案)に関する件は田中由雄幹事長から、平成二十八年年度予算(案)に関する件は塩谷典子常任幹事(会計担当)から内容説明がなされた。今年度事業等増加し事務費での事務作業費として六五〇、〇〇〇円増額させて頂いた。また、全体の繰越金一、五八二、三九九円で基金配分は奨学金準備金三〇〇、〇〇〇円、周年事業三基金準備金に各一〇〇、〇〇〇円、次年度繰越金九八二、三九九円を平成二十八年年度予算において積立となる旨の追加説明が田中由雄幹事長からなされ、審議の結果、原案どおり承認され、二案について案の削除となった。

続いて平成二十八年新幹事として国際関係学部同窓会中尾光太郎以下十一名、桜文会諏訪部昭子以下二名、桜栄会小嶋絵梨花以下十一名、工科同窓会向笠肇以下二名を幹事に多田清吾幹事以下五名を常任幹事に、伊奈敏久工科同窓会から常任幹事として事務局から推薦したい旨の提案があり承認された。

国際関係学部校友会会長賞等給付規程・表彰基準改正に関する件については田中由雄幹事長から毎年学部長に推薦依頼をお願いし学生生活委員会から推薦されていますが、平成二十八年度から推薦人数の変更を検討して頂きたい旨の申出があり国際関係学部・短期大学部三島校舎の推薦人員の配分を在籍数による人数配分とし、奨励金該当者国際関係学部六名を七名に、短期大学部三名を二名に、奨励金該当者国際関係学部三名を四名に、短期大学部三名を二名に変更する旨の提案がなされ審議の結果、承認された。

平成二十七年国際関係学部校友会関係物故者については田中由雄幹事長から昨年の総会から本年六月末日までに杉田朋昭以下三名の会員の方のご逝去された旨の報告がなされた。

本部校友会関係行事等については田中由雄幹事長から平成二十八年七月一日東京ドームホテルで開催された平成二十八年度日本大学校友会役員総会においての資料として正会員申込用紙を同封してありますが、正会員加入により学部への収入増となるので、加入者促進に協力願いたいとの要請並びに本年度から校友会女子の各学部入試等提案及び審議項目について報告がなされた。その他としては田中由雄幹事長から、会報(第四十七号)発行について例年のとおり学部から学部長・事務局長、校友会から会長・副会長・常任幹事の各三名及び顧問・参与から一名の方をお願いしたい。

また校友会優秀賞授与者個人三名と各学生団体三名の委員長に原稿依頼をした旨の報告がなされた。宮下公雄副会長の閉会のことばで総会は終了した。

総会終了後、懇親会を開催した。田中由雄幹事長の司会で進行され、校歌斉唱に始まり横山雅人会長挨拶の後、来賓挨拶として大塚吉兵衛学長及び渡邊武一郎国際関係学部長並びに江黒俊弘校友会本部事務局次長の祝辞があった。来賓紹介の後、大村正文国際関係学部事務局長による乾杯のご発声で懇談に移った。国際関係学部フラダンスサークル「ウェリナ」ハワイアンショーの披露があり、鈴木允常任幹事の指揮のもと応援歌等となり、相田信次顧問により万歳三唱で閉会となった。

校友会事務局からのお知らせ

◎ボランティア活動
毎月 第四日曜日 午前九時から
約一時間程度
本校舎西側道路(県道二三号線)
银杏並木歩道清掃作業
集合場所 大学門入って右手
◎ホームカミングデー開催
日時 十月三十日(日)十時～十五時
場所 校舎十三号館二階 講師室
◎富桜祭物産店参加
日時 十月二十九日(土)・三十日(日)十時～十六時
場所 校舎十五号館一階
スタディエリア一部

校友の皆様方のご参加をお待ちしております。また、十一月以降の行事内容については国際校友会ホームページに詳細を掲載致しますのでご覧ください。

同窓会だより

国際関係学部同窓会

平成二十七年十月十日、第三十二回国際関係学部同窓会総会・懇親会が東京千代田区のアルカディア市ヶ谷にて開催されました。

今年度の同窓会総会・懇親会には約六十名の卒業生来賓の先生方が集いました。

総会では宮下同窓会会長より挨拶があり、その後、事業報告、会計報告と続き、次年度の事業計画が審議されました。

懇親会におきましては渡邊武一郎学部長をはじめ、恩師である先生方と共に会員同士が思い出話に花を咲かせ、一層親睦を深め終始和やかな雰囲気であった。懇親会は閉会となりました。



国際関係学部同窓会

「桜栄会の皆さまへ」



桜栄会会長

野中 美香

桜栄会会員の皆さまにおかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

昨今の桜栄会は国際関係学部
の下部組織として活動をいたし
ております。そのような中、本
年度も国際関係学部校友会が打
ちだしました新たな取り組みに
桜栄会も協力していくこととな
りましたのでここに御報告申し
上げます。一昨年まで桜栄会実
行委員会主催で実施してまいり
ました物産展を校友会が引き継
ぐこととなり、今年十月の学園
祭において再び開催する運びと
なりました。地産地消の食材な
ど多数取り揃えますので何卒皆
様の多数のご来場をお待ち申し
上げます。そして次の活動とし
まして、月の第四日曜日午前九
時より三島校舎脇の並木道の清
掃活動を開始いたしました。三
島の風物詩ともなっている銀杏
並木がきれいに保たれることで
地域貢献の一助になることと感
じております。物産展及び清掃
活動を通じて校友会会員同士の
親睦を深める場としても大いに

役立つことと思います。

食物栄養学科からは寂しい御
報告となりますが、今年の三月
で室伏誠先生と三橋富子先生
が御退官されました。その退官
を記念する会が先日催され、地
域や企業を代表される来賓の方
々をはじめ、各期の卒業生が多
数出席されました。両先生の
学科や地域に対する御尽力に感
謝の思いと今後益々のご活躍を
心より祈念申し上げます。

さて、現在の食物栄養学科は
短期大学部ということもあり、
学生数が減少傾向にあります。
どうか卒業生の皆さま、お知り
合いで本学科を検討している方
がいらっしやいましたら何卒お
薦め下さいますようお願い申し
上げます。

会員の皆さまのご健康とご多
幸を心よりお祈り申し上げます。

「新生！食物栄養学科」



短期大学部食物栄養学科教授 学科長

神戸 絹代

桜栄会の皆様におかれまして
は、ますます御健勝のこととお
慶び申し上げます。

昨年は、卒業生が始めて学科

長になりましたことをご報告さ
せていただきました。

学科長になって先ず、最初に
直面したことといえば、世代交
代で長年食物栄養学科を支えて
教鞭をとっていただいていた先
生方の退職ラッシュです。世間
一般的には団塊世代の定年が数
年前から始まっていましたが、
いよいよ大学にもその波は押し
寄せ、二十七年三月には、中島
久男先生（栄養学等）、小橋恵津
先生（疾病学等）が、二十八年三
月には、室伏誠先生（解剖生理
学等）、三橋富子先生（調理学
等）が退職されました。特に三
橋先生は勤続四十一年、室伏先
生は勤続三十八年と食物栄養学
科開設五十七年の歴史の中で、
これだけ長く栄養士養成に携
わってくださった先生は、両先
生二人だけです。食物栄養学科
の重鎮として担任やゼミ生など
多くの卒業生を輩出されました
ので、退官のお知らせに卒業生
の皆様も、さぞ、驚かれお寂し
い思いをされることと存じます。

しかし、両先生共に、非常勤と
して残られていますので、学び
舎を訪れていただければお会い
できる機会もあります。退職さ
れた先生方の後任として、二十
七年、四月から小柳津周先生（栄
養学等）、高橋敦彦先生（疾病学
等）、二十八年四月からは、安西
なつめ先生（解剖生理学等）、岩
崎裕子先生（調理学等）をお迎
えし、とくに安西先生と岩崎先

生は三十歳代前半で、食物栄養
学科教員の平均年齢はぐっと若
返りました。月日の流れとともに
に、人の入れ替えは常にありま
すが、寂しい思いと新たな出会
いの嬉しさで一喜一憂しながら、
時の流れを感じています。

さて、少子高齢化となってい
る現在、今までは、教員全員で
高校訪問などを入試対策に努力
をしてきましたが、受験生の減
少は当学科にも影響が出てきて、
今年度の入学生は定員を満たす
ことができませんでした。近年
では、卒業生のお子様が入学さ
れることもあり、入学生の確保
のために、皆様のお力添えをい
ただけだと、書面をもって願
い申し上げます。当学科として
は、二年制の栄養士養成、専攻
科（四年制大学と同等の学位取
得可能）、四つの資格サポート
（製菓衛生師・フードスペシャ
リスト・フードアナリスト・介
護職員初任者研修）を特徴とし
て入試戦略に力を入れていきます。

加えて三島市を始め近隣の市町
との地域連携に力をいれ、商品
開発・レシピ考案など、学生が
習得した知識を自ら活用して、
学内での講義や実験・実習とは
異なるアクティブラーニングを
導入して活動できる機会も作っ
ています。活動内容は食物栄養学
科ホームページをご覧ください。
日本大学の教育理念である
「自主創造」に基づき「創造性
のある豊かな思考力を備え、地

域社会に貢献できる良質な人材
育成」を目指して、今後も教員
一丸となって取り組みますので、
会員の皆様方からのご支援ご鞭
撻を賜りますようお願い申し上
げます。

「はじめまして」



短期大学部食物栄養学科教授

小柳津周

校友会の会員の皆さま、こんに
ちは。平成二十七年四月より短期
大学部食物栄養学科の専任教員
に採用されました小柳津周です。

私は日本大学三島高等学校を
昭和四十七年度に卒業し、日本
大学農獣医学部食品工学科（現生
物資源科学部食品生命学科）に進
み、卒業後大学院農学研究科修
士課程を修了しました。その後、
専門学校、短期大学の専任教員
や他大学での非常勤講師として
教育と研究に携わってまいりま
した。縁あって母なるキャンパ
スとも言える三島校舎に戻って
こられたことは感無量です。学
び育てていただいたキャンパス
は往時と違い全てが様変わりし、

素晴らしい環境に進化してしました。一方で、時が流れても変わらない景色もありました。キャンパスまでの通路のイチョウ並木、桜に染まるキャンパス、農兵節が聞こえて来る高校の体育祭、そして、白雪をまとった霊峰富士山が望められるキャンパスです。ヒトも羨むほどの環境下で日大三島高等学校を卒業した後輩を含め、短期大学の学生に講義や研究指導ができる幸福を満喫しています。

ここで、少し私の研究領域についてお話をさせていただきます。日本大学の学部生・大学院生時代よりグルコサミンを利用した褐変物質の抗酸化性の研究を主体に研究活動を展開してきました。当時は現在のようにグルコサミンは全く注目されていませんでした。ほぼ独占状態で研究を推進していました。グルコサミンに関する研究の開拓者としては、今日のように注目される物質になったことは嬉しいような、悔しいような複雑な思いでもあります。近年では地元の農産物を利用した加工食品の開発と研究に力を入れていますが。その成果も牛歩ではありませんが徐々に蓄を付けてきていますので、一部を紹介いたします。

静岡県は豊かな海の幸や山の幸に恵まれた郷土ですので、そのような環境を研究に利用しない、あるいは出来ないことはもったいないと考えました。そ

ここで、初めにお茶や丹那牛乳を利用した微炭酸ヨーグルトを考案しました。このヨーグルトの特徴は炭酸ガスを含むことから口に含むと炭酸ガスの舌触りがあり、爽快感が得られます。二つ目は、みかんの果肉や皮などを利用したフリカケです。みかんは沼津市の西浦産、椎茸は伊豆産、桜エビは由比産等々、

様々な地元の産物を利用し機能性も期待できると考えています。三つ目は、富士宮や三島近隣でも栽培されている身近な農産物である落花生を利用したチョコレート様の菓子を考案しました。今後も地元の農産物を利用した新感覚の加工食品の研究及び開発を続け、学生と一緒に地元活性化に貢献することができるよう三島キャンパスでの教員生活を充実させていきたいと考えています。校友会の会員の皆さま、どうぞよろしくお願い申し上げます。

日本一臨床力のある栄養士・ 管理栄養士を養成したい



短期大学部食物栄養学科教授

高橋 敦彦

桜栄会会員の皆様、はじめま

して、高橋敦彦と申します。私は病理学、疾病学、公衆衛生学などを担当された小橋恵津先生の後任として二〇一五年四月に赴任いたしました。

本学医学部卒業後、聖路加国際病院での内科レジデント初期研修を経て、母校、駿河台日本大学病院循環器科（現日本大学病院循環器内科）に入局し、高血圧、虚血性心疾患、不整脈、動脈硬化性生活習慣病を中心とした診療、教育、研究に従事して参りました。健診センターの診療にも従事いたしました。この間、厚生労働科学研究（田中平三班）の研究協力者として「第六次改定日本人の栄養所要量」の改訂作業に携わる機会をいただきました。思えば、食事と病気の関連を強く意識し、深く考えるようになったのはこの頃読み漁ったFramingham heart study、Seven countries study、NIHONSAN study、INTERSALT studyなどの論文の影響が大きかったと思えます。静岡県は長寿者が多い県として知られていましたが、近年、生活習慣病による若年層の短命化が問題視されています。まさに栄養疫学に携わっている学者たちの杞憂が現実となったのです。日本は、世界的にみればいまだ長寿国ですが、このまま欧米化（主として米国化）が進めば、国全体の寿命や健康寿命が短くなっていくことが懸念され

ます。

こちらに赴任して、あらためてお茶、みかん、新鮮な海産物などの静岡県産物の素晴らしさに触れ、伝統的な日本の食文化、食品についての正しい知識の普及、啓発に三島こそが相応しい地であると確信するに至りました。これについては、何らかの臨床疫学研究を行えないか目下、思索中であります。

さて、表題に掲げた「日本一臨床力のある栄養士・管理栄養士」とは何かですが、これは私が勝手に抱いている理想像であり、今回それを抱負としてあげさせていただきました。辞書により「臨床」とは「病床に臨んで実地に患者の診療にあたること」とあり、「臨床力」は、それに「力」を加えた全くの造語です。あえて言わせていただきますと、悪しき生活習慣により国民の健康が危機的状況にあると思われる今こそ、予防や臨床の現場で病者を思いやる心と、栄養や行動科学に関する必要・十分以上の知識、技術、態度をもち、それらを研鑽し続ける意欲がある栄養士・管理栄養士が必要なのではないでしょうか。予防医学、医療の現場はとも広範で、社会に求められる「臨床力のある栄養士・管理栄養士」の活躍の場はこれからも更に広がっていくことと信じております。

私は、本学科の他の教員と同

様、一人ひとりの学生を大切に、個性を伸ばす教育を心がけるように努めております。身近に（特に臨床の現場で働くことを希望する）栄養士・管理栄養士を目指している方がおられましたら、是非とも日本大学短期大学部・専攻科への進学をお勧めいただければと思います。

本学で長年教鞭をとられた室伏誠先生、三橋富子先生のご指導のもと、一年間という短い期間ですが、先生方の教育、研究に対する情熱とお人柄に触れ、ともに働かせていただきましたことは私にとって、かけがえない宝物のような時間でした。多くの先輩方、先生方が築かれた本学の歴史と先生方の思いを胸に、神戸学科学長、上田専攻科主任のご指導のもと、本学科の更なる発展に微力ながら貢献できればと思っております。

今後ともご指導、ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。皆様方のご活躍とご多幸を祈念申し上げます。



「桂花露香」



短期大学部食物栄養学科非常勤講師
国際関係学部校友会参与

渡邊 洋子

短期大学栄養科二期生として日大に入学し、赤堀栄養学園に勤務、事業部に所属し、三分クッキングや今日の料理のアシスタントとしてフードコーディネーターを経験しました。地方の料理講習会には赤堀全子、千恵美両先生の助手として、又雑誌の撮影では夜中まで頑張り、五年後に郷里に帰り二十四才で翠月学園を設立しました。富士紡績に翠月学園を設けていただき従業員を対象に毎日講師を送り、多くの方々を指導する事が出来静岡ガスの料理講師や東電など地域の講習会にと子育てをしながらは大変ではありませんが一日々々に生きる喜びを感じていました。日大には山本倭一、小佐野嘉子両教授に推められて非常勤講師となり、今年で四十年目を迎えることが出来、最後の年となりました。調理学、食文化持論、フードコーディネーターの課目を教えております。国際関係学部では「日本の食文化」を持ちました。学問も時代

と共に変化してはいますが、日本の文化は幾多の年月を経て築き上げられたもの、私もこの文化を絶やすことなく後世に継げていきたいと思えます。卒業生は一人を超過しています。多くの学生と共に過ごした半生は私の宝物であり、幸せな日々でした。「桂花露香」どなたでも嫌な香り、美しい香りを持って生まれたいです。嫌な香りを美しい香りに変えていくことが教育者の勤めです。この言葉を守って四十年教育に携わっています。現在日大にはハワイ、アメリカ、ロシア、中国等多くの留学生が来ます。その折には日本の文化、日本料理、茶道、華道、書道等で実演をし、体験も取り入れ喜ばれます。日本人の美意識や思想、特に「道」と言うものを理解していただき、日本の素晴らしさを味わってまいります。食栄では、小俣、三橋の両先生と室伏先生とで「教職員いけばなの会」を発足していただき、十数名の会員の方が学園祭に出品致しました。研究論文は小佐野先生と共に静岡県中を駆けめぐり、五年に亘り取材し書き上げ、室伏誠先生との共同研究は戸田村の深海魚、チョウザメの調理学検討等の多くの論文のおかげで地域の村興しに係わり、私も御殿場の水かけ菜染め、水かけ菜カステラ、富士山ロールの考案や箱ずしなどを広めています。学生時代書道部の部長として運

動会の賞状書き、学園祭の看板、各クラブに様々なものを書いた思い出があります。三島駅北口校舎が出来たとき、小野五郎先生と私が根の大きな置物を寄贈し、その文字を何としようかと思ひ佐藤三武朗先生に御相談しますと「三島校舎の中庭の石の置物の文が良いですね」と言って下さいましたので揮毫しました。

「高いや高く、

汝の夢と希望を

汝の志す理想を

高いや高く」

日大の校友会そして多くの先生方、助手の皆様いつも楽しく、やさしく接していただき心から感謝とお礼を申し上げます。我身の年令を感じますが体の続く限り、日本の伝統文化、そして現代の食文化等の指導者、後継者を育てていきます。校友会の皆様健康とご発展をお祈り申し上げます。

「新生！食物栄養学科」



専攻科・十四期

佐藤 沢子

平成二十二年に私は食物栄養学科に入学し、さらに専攻科ま

で通いました。食物栄養学科へ入学するきっかけは、管理栄養士になりたい！栄養成分の分析などの研究をしたい！食品開発をしたい！という漠然とした夢を持っていました。そういった夢を持った夢を持っていましたが、短大での学校生活は実験実習や講義でも忙しく、夢を持って入学してきたことを忘れて、毎日降りかかってくる課題をこなすのに必死でした。専攻科に入学すると、時間の使い方に慣れるなどの辛いことはなくなりました。そして、室伏誠先生の下、農作業や地域のイベントなどのゼミナル活動や研究など、今まで経験することがなかった様々なことに取り組み、とても充実した学校生活を送りました。研究では染色体研究という非常に細かい作業が多い実験をしていました。いい結果が出なくて悔しい思いもたくさんしましたが、その悔しい思いをするとともに、もっと実験をしたいという意欲へ繋がっていきました。しかし、専攻科二年になると、就職ガイダンス、就職マナー講座、合同企業説明会などの掲示に自分たちが対象学年であることに気づき、将来に焦りを感じました。その時に、入学当初の夢を思い出しました。何のため、栄養の勉強をしてきたか、それを生かして将来何になりたいか、真剣に考えるようになり

ました。第一に、専攻科を修了するのならば、管理栄養士を絶対とることを目標としました。第二に、食物栄養学科への入学のきっかけとなった栄養成分の研究をするため、大学院進学を目標としました。それぞれの目標を達成するために、様々な人にお世話になりました。管理栄養士を取得するため、一年の実務を積ませていただいた、学生食堂で働く皆さんには感謝し切れません。就業後、勉強しているときに、いつも優しい声を掛けてくれたことは忘れられません。そして無事に管理栄養士を取得し、次の目標である大学院進学のために、食物栄養学科の実習助手として一年間、お世話になりました。先生方や、先輩の助手さん、学生さんたち、様々な人に支えられ、大学院入学試験にも無事に合格し、現在、日本大学大学院生物資源科学研究科の修士一年として大学院に通っています。これらの目標を達成するために、勉強を必死にやってきましたが、周りの様々な人の支えがあったからこそ結果だと思えます。夢を持って、食物栄養学科に入学し、学び、そして今、少しずつ夢に近づいてきています。食栄の後輩たちも夢に向かって頑張ってください。応援しています。

桜栄会の皆様へ

桜栄会の皆様には、日頃から食物栄養学科・専攻科食物栄養専攻の教育活動にご理解とご協力を賜わりまして心から感謝いたしております。

さて、今日少子化が進む中、大学への進学希望者は年々減少し、特に短期大学への進学者数は目の見えて減ってきております。本学科でも、大変厳しい状況が続いております。幸いにも本学科におきましては、現在に専攻科を開設し教育的には四年制大学と同等の教育や学士（栄養学）の取得、さらに大学院への進学も可能となり、教育水準も維持しています。歴史と伝統を有する本学科の維持・発展を期して、日々の教育・指導に一層努めてまいりますので、よろしくご支援のほどお願い申し上げます。なお、お知り合いの栄養士資格の取得を希望される受験生や社会人の受験をご案内いただければ幸いです。また、管理栄養士を目指す学生の専攻科進学を進めておりますが、近年では社会人になられた卒業生も、さらに専門的知識や技術を習得し、管理栄養士を目指して入学されています。平成二十三年度より、管理栄養士国家試験対策室を立ち上げ、サポート体制を整備し合格者を増やしています。なお、下記製菓衛生師コースは他校に比べ安価（一年間十五万円、二年間で国家試験受験資格取得）ですが、しっかりした指導体制で毎年多くの皆さんが国家試験に合格しています。通信制ですので、大学へは、年二回のスクーリングのみ参加です。ぜひチャレンジしてください。

管理栄養士国家試験対策室 全面リニューアルのお知らせ

平成二十三年度より、管理栄養士国家試験対策のための講座や模擬試験等を全教員が分担する形で定期的に行ってききました。参加者は専攻科二年生と卒業生が対象ですが、勉強時間の確保や習熟度は個人に違いがあります。そのため、講座開始時間や内容が固定しているこれまでのやり方は、参加者のニーズに沿っておらず、教員側も参加者の学習効果を把握することが難しい状況でした。そこで、本年度より全面的に対策講座の方法を見直し、参加登録者個別に対策講座担当教員と面談し、受験までの年間計画を立てて苦手科目の克服に力を入れるようにリニューアルしました。

国家試験受験資格取得までの実務経験を積む間は、仕事と勉強の両立がひとりでは難しいと思っっている方は、ぜひご参加ください。

追記・今年の国家試験対策の方法についてご不明な方、また第三十回管理栄養士国家試験に合格された卒業生の方は、食物栄養学科研究室へご連絡ください。

習熟度の把握（外部模試利用）
参加者登録

個別面談またはメール
（苦手手科目、ニーズの把握）

登録者のニーズを集約し、担当教員は講座内容・日程の計画や調整を行う

個別面談またはメール
（受験までの個別年間計画作成）

登録者は年間計画に沿って学習
担当教員は実施状況を把握し、支援

学科で卒業生も取得できる資格

《製菓衛生師（国家試験受験資格）》

平成十六年度から、食物栄養学科・専攻科食物栄養専攻では、茨城県にある「つくば栄養調理製菓専門学校」との連携で、製菓衛生師国家試験受験資格を取得できる通信教育課程を開設しております。製菓衛生師とは、製菓・製パン業務に就く際に取得していることが望ましい唯一の資格で、近年の食に関する資格の中でも人気の高いものです。本学では、二年間の在学中に、通信学習（月一回の課題提出）、夏季と春季のスクーリング（各五日）および指導校研修（一日）で効果的に修得できます。毎年四月から開講です。

《介護職員初任者研修》

介護職員初任者研修は、旧ホームヘルパー2級、訪問介護員とも呼ばれ、高齢者や心身障害者などの身体の介護や家事サービスを提供し、自宅での自立を支援します。厚生労働省が指定する講座を修了することで修得でき、高齢化社会を迎えニーズの高い資格です。本講座は二チイ学館と連携した本学科単独の通信講座で、食物栄養学科・専攻科食物栄養専攻を対象にカリキュラムを編成し、開講します。

「フードアナリスト」四級・三級

平成二十五年より本学科でフードアナリストの資格取得が出来るようになりました。世界各国の食文化や食空間の演出法、テーブルマナーや食育など、「食」に関するあらゆる知識・教養を幅広く学び、食の事ならば何を聞かれても解説できる、何を依頼されても執筆できる「食情報のスペシャリスト」を育成する為の資格です。幅広い知識を身に付けたフードアナリストは、様々な分野で活動し、その活躍が多くのメディアで注目されています。本学にて一日の受講（含む認定試験）で4級の資格が取得可能です。今年度は二月に開講予定です。また、四級の資格を取得した者は、三級受験資格があり、希望者が集まれば本学にて二日間の受講で取得可能です。

お問い合わせは、食物栄養学科研究室
TEL: 〇五五-九八〇-〇八四〇
FAX: 〇五五-九八〇-〇八四六
E-mail: kanbe.kinuyo@nihon-u.ac.jp

日本大学国際関係学部校友会会則

第1章 総 則

(名 称)

第1条 本会は日本大学国際関係学部校友会と称する。

(事務局)

第2条 本会は事務局を静岡県三島市文教町2丁目31番145号に置く。

第2章 目的及び事業

(目 的)

第3条 本会は会員相互の親睦と融和をはかり母校の発展に寄与すると共に母校建学の理念を社会に拡充することを目的とする。

(事 業)

第4条 本会は前条目的達成のために次の事業を行う。

- 1 会報発行・会員名簿の作成
- 2 会員相互の親睦と融和をはかるための諸事業
- 3 母校の発展興隆に関する諸事業への協力参加
- 4 その他目的達成のために必要な諸事業

第3章 会 員

(会員構成)

第5条 本会は日本大学三島予科・三島教養部・文理学部三島・短期大学部（三島校舎）・専攻科食物栄養専攻・国際関係学部・大学院国際関係研究科の出身者および在籍した者による正会員と幹事会において本会に関係が深く功労があると認められた特別会員・名誉会員並びに準会員である国際関係学部・大学院国際関係研究科・短期大学部（三島校舎）の在学生をもって構成する。

- 2 特別会員・名誉会員並びに準会員は議決権は有しないものとする。

(会 費)

第6条 会員は規程の定めるところにより、会費を納入しなければならない。

- 2 会費及び徴収方法は別に定める。
- 3 特別会員・名誉会員は会費を徴収しないものとする。

第4章 役 員

(役員構成)

第7条 本会に次の役員を置く。

- | | |
|-------|-----|
| 会 長 | 1名 |
| 副 会 長 | 若干名 |
| 幹 事 長 | 1名 |
| 常任幹事 | 若干名 |
| 幹 事 | 若干名 |
| 会計監査 | 2名 |

(顧問・参与)

第8条 本会は顧問・参与を置くことができる。

- 2 顧問・参与は幹事会の議を経て会長が委嘱する。

(役員を選出)

第9条 会長は会長・副会長会議で推薦され、総会にて承認を得るものとする。

- 2 副会長は国際関係学部校友会を構成する各同窓会会長或は在学した者の代表者とし会長が推薦し、常任幹事会に報告するものとする。
- 3 幹事長は常任幹事から会長が推薦し、常任幹事会に報告するものとする。
- 4 常任幹事から庶務担当・会計担当を幹事長が指名し、会長・副会長会議に報告するものとする。

(任 期)

第10条 各役員任期は3年とし、再任は妨げない。ただし満80歳をもって定年とする。なお、期間は当該年度内とする。

- 2 欠員が生じたときは、必要に応じて補選し、その任期は前任者の残存期間とする。
- 3 任期満了した場合においても、後任者が就任するまでの間その職務を行う。

(役員職務)

第11条 会長は本会を代表し会務を総括する。

- 2 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはその職務を代行する。
- 3 幹事長は事務を統括し、本会運営に必要な一切の事務事項を遂行する。
- 4 常任幹事は幹事の互選により選出し、常任幹事会を構成、本会業務の遂行にあたる。
- 5 幹事は幹事会を構成し、本会運営の諸事項の議決にあたる。
- 6 顧問・参与は本会の重要事項につき、会長の諮問に応ずるものとする。
なお、顧問・参与には役員に関する規定を準用する。

第5章 会 議

(会議及び議決方法)

- 第12条 本会の会議は、総会・会長、副会長会議・常任幹事会・幹事会の4種とする。
- 2 会議は会長が招集し、議長団はその都度選出する。
 - 3 やむを得ない場合は、常任幹事会及び幹事会をもって総会に代ることができる。

(会議の構成及び開催)

- 第13条 本会は目的達成のため下記の機関を置く。
- 2 総会は本会運営上の諸事項についての報告を受けこれを承認する。
総会は年1回開催するものとし会長がこれを招集する。
 - 3 常任幹事会は常任幹事以上の役員を以て構成し本会の執行機関として本会の実質的運営にあたる。常任幹事会は必要に応じて随時会長がこれを招集する。常任幹事3分の1以上の要求があった場合はこれを招集しなければならない。
 - 4 幹事会は総会の代行機関として第14条の事項を付議し、これを議決する。
幹事会は年1回以上開催するものとし会長がこれを招集する。幹事3分の1以上の要求があった場合は臨時に招集しなければならない。
 - 5 事務局は幹事長指示のもと会員相互の連絡及び各会議の議事の収録並びに運営に必要な一切の事務を行う。

(総会の審議)

- 第14条 総会は次の事項を審議し議決する。
- 2 会則及び重要規定の制定、改廃に関する事項。
 - 3 事業計画に関する事項。
 - 4 予算・決算に関する事項。
 - 5 会長の選任に関する事項。
 - 6 その他第4条に基づいて必要と認められた事項。

第6章 支 部

(支部の設置)

- 第15条 本会は円滑な発展と交流の促進のために支部を設けることができる。
- 2 支部の設置条件及び方法は別に定める。

第7章 会 計

(会計年度)

- 第16条 本会の会計年度は4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(経費)

- 第17条 本会の経費は、会費並びに寄付金その他の収入を以てこれを充てる。

(会計監査)

- 第18条 会計監査は本会会計及び財務について監査し、その結果を総会にて報告する。

第8章 会 則

(会則変更)

- 第19条 本会の会則の変更は総会の議を経てこれを決する。

(会則の遵守)

- 第20条 国際関係学部校友会は日本大学校友会会則及び支部規程を遵守しなければならない。

(施行細則)

- 第21条 この会則に必要な細則は会長・副会長会議及び常任幹事会の議決を経て会長がこれを施行する。

第9章 表 彰

(表彰)

- 第22条 本会の目的及び事業に貢献した者は幹事会の議を経て、これを賞することができる。
- 2 卒業予定者及び在学生に対する会長賞等の表彰規定は別に定める。

第10章 除 名

(会員除名)

- 第23条 会員が次の事項に該当した行為があったときは幹事会の議を経て除名することができる。
- 2 国際関係学部の名誉を傷つけ、また校友としての品位を害する言動があったとき。
 - 3 校友会の秩序を乱したとき。
 - 4 故意または重大な過失により校友会に損害を与えたとき。

付 則 本会則は平成23年8月1日より施行する。

日本大学校友会組織図

日本大学校友会(校友会本部事務局)

都道府県支部(65 支部)

北海道ブロック(札幌・旭川・稚内・小樽・帯広・留萌・苫小牧・網走・釧路)
 東北ブロック(青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島)
 関東ブロック(茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・神奈川・川崎・山梨)
 東京ブロック(東京都第一・東京都第二・東京都第三・東京都第四・東京都第五・
 東京都第六・東京都第七)
 東海ブロック(岐阜・静岡・愛知・三重)
 北信越ブロック(新潟・富山・石川・福井・長野・長野北信)
 近畿ブロック(滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山)
 中国ブロック(鳥取・島根・岡山・広島・山口)
 四国ブロック(徳島・香川・愛媛・高知)
 九州ブロック(福岡・北九州・佐賀・長崎・佐世保・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄)

学部別部会(16 部会)

本部大学院・法・文理・経済・商・芸術・国際・理工・生産工・工・医・歯・松戸歯・生物資源科・薬・通信

職域別部会(4 部会)

全国桜師会・桜門会計人会・日本大学法曹会・全国桜門スポーツ部会

桜門会(80団体)

海外特別支部(8 支部)

韓国・ブラジル・ロサンゼルス・台湾・サンフランシスコ・スペイン・インドネシア

日本大学国際関係学部校友会組織図

国際関係学部校友会
(旧三島同窓会)

三島豫科
三島教養部
文理学部(三島)

短期大学部
桜文会(国文・英文)
商経科同窓会(1・2部・ビジネス教養)
桜栄会(栄養・家政・食栄・生活・専攻科)
工科同窓会(建築・機械)

国際関係学部同窓会